

令和7年度

子ども
区議会
会
議録

令和7年12月25日（木）

葛飾区・葛飾区議会・葛飾区教育委員会

目 次

| | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 概要 | 2 |
| 2 | 子ども議員名簿 | 4 |
| 3 | 出席理事者名簿 | 5 |
| 4 | 本会議（開会宣言及び一般質問） | 6 |
| 5 | 第一委員会 | 30 |
| 6 | 第二委員会 | 43 |
| 7 | 本会議（決議及び閉会式） | 56 |
| 8 | アンケート結果 | 61 |
| 9 | 子ども区議会スケジュール | 67 |

1 概要

1 趣旨

葛飾区の未来を担う小・中学生に議会制民主主義の理解と区政への関心を深めてもらうとともに小・中学生の視点からみた区に対する要望や意見などを聴取し、今後の区政運営の参考とする。

2 会場

葛飾区議会本会議場及び委員会室

3 出席者

- (1) 子ども議員・・・27人（小学生21人・中学生6人）
- (2) 区・・・・・・区長、副区長2名、教育長、関係部長6人
- (3) 区議会・・・・・・議長、副議長、区議会議員17人
- (4) 教育委員会・・・教育長職務代理者、教育委員会委員4人

4 運営方法

- (1) 本会議 議長・・・・・・子ども議員
副議長・・・・・・子ども議員
答弁者・・・・・・区長、教育長
- (2) 委員会 委員長・・・・・・子ども議員
副委員長・・・・・・子ども議員
答弁者・・・・・・危機管理・防災担当部長、環境部長、
都市整備部長・交通政策担当部長、
都市施設担当部長、教育次長、
学校教育担当部長
※都市整備部長は、交通政策担当部長を兼任。



2 子ども議員名簿

| 委員会 | No. | 氏名 | フリガナ | 学校名 | 学年 | 質問 | 役職等 |
|-----------------|-----|---------|------------|-------------|-----|---------------------------|---------|
| 第一委員会 くらしと環境 | 1 | 西谷 美里 | ニシタニ ミサト | 原田小学校 | 5年生 | たばこのポイ捨てについて | 一般質問 |
| | 2 | 古久保 孝健 | フルクボ コウケン | 青戸小学校 | 5年生 | 騒音について | |
| | 3 | 和氣 武琉 | ワキ タケル | 川端小学校 | 5年生 | 放置自転車について | 決議文作成委員 |
| | 4 | 酒主 琉優音 | サカヌシ リュウト | 金町小学校 | 5年生 | 高架下の道路の安全について | 委員長 |
| | 5 | 加奈森 和泉 | カナモリ イズミ | 北野小学校 | 5年生 | 公園のバスケットボールのスペース作りについて | |
| | 6 | 滝川 凜 | タキカワ リン | 中之台小学校 | 5年生 | 路上や公園のごみ箱の設置について | 一般質問 |
| | 7 | 島田 花凜 | シマダ カリン | 南綾瀬小学校 | 5年生 | 犬が入れる公園について | 副委員長 |
| | 8 | 田中 優希 | タナカ ユキ | 奥戸小学校 | 6年生 | 水害について | |
| | 9 | 内山 絢香 | ウチヤマ アヤカ | 花の木小学校 | 6年生 | ごみ集積所について | 議長 |
| | 10 | 佐藤 風 | サトウ フウ | 堀切小学校 | 6年生 | 子ども区議会の活動成果の見える化と区民参加について | 一般質問 |
| | 11 | 森 晴希 | モリ ハルキ | 中川中学校 | 1年生 | 新金線のLRT化について | 一般質問 |
| | 12 | 神成 優希 | カンナリ ユウキ | 東邦大学付属東邦中学校 | 1年生 | 公園でのポイ捨て問題について | 一般質問 |
| 第二委員会 教育と文化 | 13 | 出口 聡馬 | イデグチ ソウマ | 上平井小学校 | 5年生 | 給食の時に机をつなげられないことについて | 副議長 |
| | 14 | 中尾 理帆 | ナカオ リホ | 柴原小学校 | 5年生 | 障がいの教育について | 一般質問 |
| | 15 | 泉 汐里 | イズミ シオリ | 青戸小学校 | 5年生 | 葛飾教育の日について | 一般質問 |
| | 16 | 北村 藍梨 | キタムラ アイリ | 青戸小学校 | 5年生 | 葛飾教育の日の授業について | 一般質問 |
| | 17 | 大山 智郷 | オオヤマ チサト | こすげ小学校 | 6年生 | 温暖化と私たちの生活について | 一般質問 |
| | 18 | 小沼 幸音 | オヌマ ユキネ | 柴原小学校 | 6年生 | 区の教育の予算について | 決議文起草委員 |
| | 19 | 小林 璃愛 | コバヤシ リア | 幸田小学校 | 6年生 | 給食の食べ残しについて | 委員長 |
| | 20 | 桐山 愛莉 | キリヤマ アイリ | よつぎ小学校 | 6年生 | 学校の防災機能を高めるためには | 決議文作成委員 |
| | 21 | 佐野 琴音 | サノ コトネ | 奥戸小学校 | 6年生 | 起立性調節障害に対する理解について | 一般質問 |
| | 22 | 榊 美咲 | サカキ ミサキ | 西亀有小学校 | 6年生 | 不審者対策について | |
| | 23 | 黒澤 有匡 | クロサワ ウキョウ | 白鳥小学校 | 6年生 | いじめられていることを伝えられないことについて | 副委員長 |
| | 24 | 横山 夢来 | ヨコヤマ ユラ | 新宿中学校 | 1年生 | いじめ・不登校対策の強化 | |
| | 25 | 村上 智優 | ムラカミ チヒロ | 金町中学校 | 1年生 | 小中学生の有給休暇制度について | |
| | 26 | 日下部 凜大朗 | クサカベ リンタロウ | 慶應義塾中等部 | 1年生 | 区民プールの問題点について | |
| | 27 | 坂崎 紅羽 | サカザキ イロハ | 新宿中学校 | 2年生 | 公立中学校の制服及び体育着の無償化について | |

3 出席理事者名簿

| No. | 職 名 | 氏 名 |
|-----|--------------------------------|---------|
| 1 | 区 長 | 青 木 克 徳 |
| 2 | 教 育 長 | 市 川 茂 |
| 3 | 副 区 長 | 植 竹 貴 |
| 4 | 副 区 長 | 長 谷 川 豊 |
| 5 | 総 務 部 長 | 今 井 直 紀 |
| 6 | 危機管理・防災担当部長 | 杉 立 敏 也 |
| 7 | 環 境 部 長 | 木 下 雅 彦 |
| 8 | 都 市 整 備 部 長 交 通 政 策 担 当 部 長 | 吉 田 眞 |
| 9 | 都 市 施 設 担 当 部 長 | 忠 宏 彰 |
| 10 | 教 育 次 長 | 山 崎 淳 |
| 11 | 学 校 教 育 担 当 部 長 | 山 梨 智 弘 |
| 12 | 教 育 長 職 務 代 理 者 | 久 保 洋 子 |
| 13 | 教 育 委 員 会 委 員 | 壺 内 明 |
| 14 | 教 育 委 員 会 委 員 | 谷 部 憲 子 |
| 15 | 教 育 委 員 会 委 員 | 井 口 信 二 |
| 16 | 教 育 委 員 会 委 員 | 田 中 健 |

4 本会議（開会宣言及び一般質問）

1 区議会議長挨拶

葛飾区議会議長の梅沢とよかずです。本日は細木まこと副議長をはじめ、多くの葛飾区議会議員の皆さんが参加している中、代表して一言挨拶をいたします。

本日はようこそ葛飾区議会本会議場へお越しくださいました。心より歓迎いたします。この葛飾区議会は4年に一度選挙を行い、47万葛飾区民の代表者として選ばれた葛飾区議会議員の皆さんがそれぞれの代表として、意見や要望を基にこの葛飾区がもっと住みやすいまちになるために話し合いをし、形にして行く場所です。

今日の葛飾子ども区議会においても本物の葛飾区議会と同じ形で運営をしていきます。皆さんが普段暮らしているこの葛飾区で感じていることや疑問に思っていることなどを質問されるということで、私たちも大変楽しみにしております。今日をきっかけに皆さんがもっと葛飾区議会を知っていただき、そしてそれぞれの学校の児童会や生徒会などで役立てていただければ嬉しい限りです。

また、傍聴席にお越しいただいている保護者の皆様方、本日はお忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございます。これからお子様たちがこの本会議場や委員会でそれぞれの意見や自分たちの思いを形にしていく、そのすばらしい姿をしっかりと見守っていただければと思っております。

それでは、葛飾子ども区議会議員の皆さん、今日一日よろしくお願いたします。



2 議事

(1) 開会宣言

◆子ども区議会議長（花の木小学校 内山絢香）

出席議員は定足数に達しております。ただいまから、令和7年度子ども区議会を開会いたします。

(2) 区長挨拶

皆さん、こんにちは。葛飾区長の青木克徳です。

子ども議員の皆さんは今日で2学期が終了し、明日から冬休みを楽しみにしていることと思います。本日は今年を締めくくる活動として、この子ども区議会でたくさんのごことを学んで、大いに楽しんでいただきたいと思います。

開会に当たりまして、皆さんに関係する葛飾区の取組についてお話をします。

葛飾区は全ての子どもたちが笑顔で幸せに暮らせることを目指して、令和5年10月に「葛飾区子どもの権利条例」をつくりました。条例とは葛飾区に暮らす私たち一人一人が守らなければならないルールです。この条例では、子どもたちが意見を自由に表明することができ、その意見が大切にされ、子どもたちにとって一番良いことにつなげていくことを掲げています。

今年度、区のホームページに「かつしかこどものページ」を開設しました。このページでは、子どもに関する取組や講座、イベントなどの情報をまとめて、子どもたちが区に関する情報収集をしやすいようにしています。

また、子どもの権利について分かりやすく学べるように特集のページを設け、イラストを使った説明や学習用動画のリンクを掲載するなどしています。さらに、小学生以上の子どもたちが区政に関する意見を投稿できる意見フォームを用意し、投稿内容に応じて回答をしています。

今後も子どもの権利を守り、全ての子どもが笑顔で幸せに豊かな生活を送ることができる平和な社会の実現に向けて取組を進めていきます。

次に、観光の事業についてお話します。今年の3月22日に、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の世界を楽しみながら体験できるこち亀記念館がオープンしました。区では、地域の皆様との協働によってキャラクター銅像の設置をはじめ、こち亀を活用した様々な取組を実施しています。亀有地区は国内外から観光客が訪れる観光地へと変貌を遂げています。

11月18日には、こち亀記念館がテーマ・エンターテインメント業界において世界的に権威のある賞の一つとされているティア・アワード (Thea Award) のミュージアム賞を受賞しました。こち亀ファンの方はもちろん、作品にあまり詳しくない方でも楽しむことができる施設ですので、皆さん、ぜひ足を運んでください。

次に、環境・緑化事業についてお話しします。来年5月16日から6月14日まで、「全国みどりと花のフェアかつしか」を開催します。このフェアは、国、東京都などの関係自治体、地域住民や事業者との連携・協働により開催し、葛飾区内の公園などの会場を緑や花で彩り、ステージや飲食・物販、展示体験のブースを設けます。

まちに緑や花を増やすことで区民の皆様が安らげる場所ができるほか、環境について考えたり、人と人との交流が生まれるきっかけとなります。そのため、フェアを通じて人と人のつながりを強化し、区民の皆さんと一緒に花でいっぱいのもちづくりを進めてまいります。

葛飾区では、今お話しした取組以外にも防災、防犯対策、子育て、教育、高齢者の支

援、公共交通網の拡充、道路整備など、様々な課題に取り組んでいます。

葛飾区をもっと魅力あふれるまちにしていくためには、区民の皆さんの一人一人の声をお聞きし、取組を進めていくことが大切です。本日、皆さんは葛飾区をよりよくするために真剣に考え、意見を出してくれると思います。皆さんの一つ一つの意見をしっかり聞いて、その思いを大切に受け止め、精いっぱい考えてお答えをしますので、自信を持って積極的に発言をお願いします。

今日の子ども区議会を通じて、区議会の役割や区役所の仕組みについて理解を深めていただくことを期待しています。そして、それぞれの地域で活躍していただき、誰もが幸せを感じられるまちを一緒につくっていきたいと思います。

結びに、子ども区議会の開催に当たり、梅沢区議会議長をはじめ、区議会議員の方々、教育委員会、学校関係者、保護者の皆さんに多大なご支援とご協力を賜りましたこと、心から御礼を申し上げます。そして、傍聴席の保護者の皆さん、ぜひ拍手で声援を送ってください。

令和7年の子ども区議会の開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



(3) 一般質問

◆西谷議員（原田小学校 西谷美里）

「たばこのポイ捨てについて」

私の通っている学校の5年生は、毎朝、学校周辺を掃除しており、私も当番制で週に1回掃除しています。担当場所に行くと、毎回たばこの吸い殻が落ちており、友達といつも「嫌だね」と話しています。そのため、私は区内のいろいろな場所へ出かけたときに、喫煙禁止の区域の標識や呼びかけのチラシなど、今まで以上に気にするようになりました。

すると、喫煙禁止と書かれているのに、たばこの吸い殻がたくさん落ちていることが分かりました。インターネットでも調べてみると、たばこは火災につながるということも分かりました。そこで提案いたします。

試験的に葛飾区も投票型喫煙所を設置してみてもどうでしょうか。投票型喫煙所とは、たばこを吸う人がゲーム感覚で吸い殻を捨てたくなるように、二つの答えの投票型灰皿が設置された喫煙所のことです。実際に喫煙所を設置している千代田区などでは、落ちている吸い殻が約9割減ったそうです。

葛飾区もポイ捨てが減少傾向にあるとは聞きますが、ポイ捨てゼロを目指すには新しい試みも必要だと思います。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆区長

初めに、学校の前を清掃していただきありがとうございます。今、葛飾区内では、自分の近所を清掃する方もたくさんいます。ぜひ、きれいなまちにしていきたいと思えます。

葛飾区では、「葛飾区きれいで清潔なまちをつくる条例」によって、区内全域で歩きタバコ・ポイ捨てを禁止する、そして一部の駅周辺の道路を喫煙の禁止区域に指定して、区域内に喫煙所を8か所設置しています。このことを区民の皆様にご存知いただき、ルールとして守っていただけるよう、広報かつしかや区のホームページ、京成バスの車内放送などでPRをしています。

しかし、路上喫煙やタバコのポイ捨てはなかなか無くなりません。大分減ってはいますが、無くなっていません。とても悲しいことです。葛飾区としてもより啓発活動に力を入れて、ポイ捨てを無くしていきたいと思っています。

その中で、西谷議員からのご提案に対する区の方針をお話しします。葛飾区では、これまでもタバコのポイ捨てをさせないようにするための取組を進めてきました。喫煙する方が楽しみながら、そしてタバコのポイ捨てを減らす、こうしたことが進められればとても良いことだと思います。

投票型喫煙所の設置というのは新しいアイデアですが、喫煙所の設置には喫煙をしない方の理解をいただくことがとても大切です。そこで、西谷議員にご提案いただいたアイデアを今後喫煙所設置の際の参考にしていきたいと思えますし、ほかの市区町村で実施している事例があるので、そちらも参考にします。

西谷議員は、ごみのポイ捨てに対して問題を感じ、他の自治体の事例を調べてご提案をいただきました。この問題に高い関心を持っていただいていることをとてもうれしく感じます。これからは地域の清掃活動にも参加をいただくなど、きれいで清潔なまちづくりの担い手として、区と一緒に取り組んでください。よろしくお願います。

◆滝川議員（中之台小学校 滝川凜）

「路上や公園のごみ箱の設置について」

私は散歩が大好きで、よくまちを歩き回っています。道を歩くと、地域の歴史や面白いお店や優しい人々などに会えてとても楽しいです。特に私の住んでいる亀有は商店街がにぎやかで、人と人の距離が近くてとてもすてきだと思います。こんな葛飾の魅力をほかの地域の人にも知ってもらいたいと思っています。

しかし、散歩をしていると時々悲しくなるときがあります。それは路上や公園に捨てられたたばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどのごみを見たときです。こんなすてきなまちなのに、どうして人はポイ捨てをするのでしょうか。

その理由の一つは、路上や公園にごみ箱が設置されていないからではないかと考えます。現に友達と公園で遊んでいたときに、お菓子の包み紙をその場でポイ捨てしようとしている子がいました。その子に注意をしたところ「ごみ箱がないから仕方がない」と言っていました。

葛飾区にごみ箱はどれくらい設置されているか調べてみると、水元公園などの都立の公園にはあるものの、区立の公園にはあまり置かれていません。私がよく遊びに行く亀有公園にもごみ箱がなく、清掃はしばしばされていますが、それでも夕方になるといろいろなごみが散らかっています。路上にもごみ箱がなく、たばこの吸い殻などのごみが道の端にたまっています。

このままでは葛飾区はごみだらけのまちになってしまいます。住んでいる私たちも嬉しくありませんし、区外から来てくれた方々も葛飾を好きになってくれることはないと思います。そこで提案をいたします。

私は、葛飾をごみのないきれいなまちにするために、公園や路上にごみ箱を設置していくことがよいと考えます。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆区長

葛飾区では、平成17年に「葛飾区きれいで清潔なまちをつくる条例」を定め、葛飾区内の全ての場所でたばこの吸い殻や空き缶のごみのポイ捨てを禁止しています。また、条例の中では、ごみが出たときには、それぞれの人が自分の家まで持ち帰るか、適切なごみ箱に入れなければならないと決まっています。

滝川議員ご提案の路上や公園にごみ箱を設置することは、ごみを捨てやすくなることによりポイ捨てが減って、まちがきれいになるためのアイデアの一つだと思います。

現在、葛飾区の路上や公園にごみ箱が設置されていないのは、いくつかの理由があります。これまで路上や公園にあるごみ箱には、毎日のように大量の家庭ごみが捨てられ、あふれたごみが散乱している状況がありました。また、路上にごみ箱が無いほうが、まちが美しく見えるという意見があったことや、誰でも捨てることができるごみ箱を狙って、危険物を入れられるような事件を防ぐことを理由に、区が設置していたごみ箱の撤去を行ってきました。

しかし、最近では滝川議員と同じように、改めてごみ箱を設置したほうが良いという意見も出てきています。もし葛飾区が新しくごみ箱を設置しようとするときは、設置する場所やそのごみ箱を掃除する人、たまったごみを集めて運ぶ事業者、設置する場所の近くに住む人への説明、危険なことが起こらないような対策の検討、それらにかかる費用の確保など、いろいろなことを協議して検討して準備をする必要があります。

家庭ごみを持ち込まない、自分のごみは自分で持って帰るというマナーを区民の皆さんにしっかり守っていただけるよう周知を図った上で、今後、周辺の区の公園や駅などにおける取組を参考にして、ごみ箱の設置の可能性についても考えていきたいと思えます。

◆佐藤議員（堀切小学校 佐藤風）

「子ども区議会の活動成果の見える化と区民参加について」

私は子ども区議会の活動成果の見える化と区民参加について質問します。

第一に、「区の今の状況」についてです。現在、子ども区議会での質問や提案に対する区からの回答は、葛飾区のホームページと教育広報「かつしかのきょういく」で1回のみ報告されています。しかし、この方法では区民全体への周知が十分ではありません。

第二に、「問題の指摘」についてです。この報告方法には大きく四つの問題があります。

まず、「かつしかのきょういく」は、読む人が限られています。

次に、区民全体に配布される広報かつしかには、子ども区議会の活動の内容がきちんと載せられていません。そのため、地域住民全体に活動内容が伝わっていません。

また、葛飾区のホームページには詳細が載せられていますが、高齢者や情報機器に慣れていない方はホームページを見ることができません。多くの区民は、そこに情報があることすら知らないのが現状です。

最も重要な問題は、子ども区議会での質問や提案について区からの回答をもらっても、それが実際にどう改善されたのかが数字やデータで示されていないことです。具体的な改善状況が見えないため、子ども区議としても活動の意味や効果を実感できていません。

第三に、「このままでは何が起こるか。」についてです。この状況が続くと、子ども区議自身が子ども区議会の意義に疑問を感じるだけではなく、制度が形だけのものになってしまいます。また、区民も子ども区議会の取組を知ることができません。せっかく子どもの権利条例を施行している葛飾区なのに、子どもの意見を区政に反映させることについて、区民に知ってもらう機会がないのはとてももったいないと思います。そこで、改善策を提案します。

まず、情報発信の改善です。広報かつしかに、子ども区議会の報告と区からの回答を定期的に載せるのはどうでしょうか。

次に、成果の数値化です。改善状況を「〇年は△%だったが、〇年には△%になった」といった具体的な数字で報告するのはどうでしょうか。

次に、区民の参加の促進です。改善活動への区民参加を広報かつしかで募集し、参加型イベントを開催するのはどうでしょうか。

最後に、継続報告の確立です。開催の報告から、改善の活動の参加を募集、イベントの実施報告、改善成果を報告までのサイクルをつくることで、子ども区議会の活動が区民に広く理解され、地域全体で課題解決に取り組む体制ができると考えます。区のお考えをお聞かせください。

◆区長

子ども区議会は、未来の葛飾区を担う子どもたちが議会活動を体験することで議会の仕組みを学び、区政への関心を高めることを目的として実施をしています。子どもたちの要望や意見を聞いて、今後の葛飾区の事業の参考にすることもとても重要な役割です。

毎年、子ども区議会に参加いただいた方々から、子ども区議会の経験を通じて、区政や区議会の活動に対して関心を持ったとの意見もいただいています。令和6年度子ども区議会アンケートの調査では「区政に関心がわきましたか」という問いに対して88.5%の方が「はい」と答えており、「区議会の活動に関心がわきましたか」という問いには92.3%の方が「はい」と答えていただいています。

佐藤議員からお話のあったとおり、子ども区議会議員の皆様をはじめ、子どもの意見は非常に大切なものであると考えています。ご意見の中には、すぐに取り組むことができるものもありますが、検討に時間を要するものもあります。子ども区議会でもいただいた意見はしっかりと検討してまいりたいと思います。

ご提案をいただいた情報発信についてですが、佐藤議員からのご意見を受けまして、葛飾区公式ホームページの「こどものページ」に子ども区議会に関する情報を掲載し、皆様がアクセスしやすい環境を整えました。

成果の数値化についてですが、子ども区議会でのご意見に限ったものではありませんが、現在、区では行政評価という仕組みで、事業ごとに目標数値を設定した改善活動を20年余り続けております。子ども区議会でも質問いただいている気候変動対策、防災活動など、今年度は136の事業を分析して業務の改善へ反映をさせていただいています。

また、ご意見にありますとおり、業務の改善において区民の方々の意見は、とても大切だと考えています。現状でも区の会議や防災活動など、様々な事業で区民の皆様にご参加いただいています。区民参加をさらに促進するための取組を進めていきたいと思っています。

今後も子ども区議会や行政評価、区民参加事業、情報発信を組み合わせながら、業務改善につなげられるよう工夫をしてまいります。

◆森議員（中川中学校 森晴希）

「新金線のLRT化について」

びっくりして悲しくなりました。9月24日の新聞で、葛飾区が新金線をBRTで検討するという記事が出たからです。

2年前に新金線をLRTにする構想を聞き、僕も手伝いたいと思いました。自由研究や少年の主張、子ども区議会と、僕が主張できる場所で新金線LRT化の魅力を伝えていきました。

最も参考になるBRTは、都心の新橋から臨海地区への東京BRTですが、都心のBRTでさえ知っている都民は少なく、また、バスは渋滞に巻き込まれることもあります。BRTの成功例の多くは南米です。南米は鉄道が少ない車社会です。そこではBRTは受け入れられました。

LRTの成功例はヨーロッパに多くあります。20世紀、車優先のまちから、「車と歩いている人は対等だ」という考え方に変わり、エコやバリアフリーを中心にまち全体を見直しました。ヨーロッパでも、5万人程度の小さなまちではBRTが成功しています。一方で、LRTは50万人くらいのまちで成功しています。葛飾区の人口は約47万人ですので、LRTに向いているまちと言えます。

BRTは沿線の人たちを便利にします。LRTは交通が便利になるだけでなく、エコでバリアフリーになり、葛飾区全体を引き上げてくれます。寅さんも両さんも見たことない僕たち世代の葛飾区のシンボルになるのです。

この2年間、僕は新金線を応援してきました。もし、新金線がBRTで決定するなら僕の応援は終了です。僕は東四つ木に住んでいて、沿線とは関係ないからです。

葛飾区にLRTが走ることを考えただけわくわくが止まりません。僕たちが大人になったときの葛飾区に、わくわくを感じている小・中学生はいるのでしょうか。東京タワーができていくときのわくわく感を僕たちが持つことはできないのでしょうか。

路線図に載るLRTなら観光客を呼び込むこともできます。川沿いに体験観光の会社を呼び、来日した人に来てもらい、プラレール風のLRTに乗り体験観光をすることは、日本の葛飾での最高の思い出になります。区外から魅力を感じて転居してくる人や会社が増えることも間違いありません。

「新金線を開通させて本当によかった」と思える新金線とは何かを考えてほしいです。未来の葛飾区は沿線が便利なまちなのか、また、全国からも注目されて誇れる葛飾区になるのか、交通だけの話ではないのです。僕が新金線LRTを希望することで、皆さんにも未来の葛飾区を考えてほしいと思っています。

◆区長

森議員のご質問のとおり、新金線の旅客化は区内の南北交通がより便利になるだけではなく、区全体の魅力をアップさせるとも重要な取組だと思います。そのため、新金線の旅客化に当たっては、新小岩から金町まで早く、そして時間どおりに運行し、多くの人が通勤・通学や買物など、毎日の生活で利用しやすいものにするだけではなく、バリアフリーやクリーンエネルギーを取り入れたり、デザイン性の高い車両や駅にしたりすることで、まちのシンボルとなる交通機関をつくることを目的としています。

そうした交通をつくる方法として、貨物線が走っている線路を旅客のLRTも走らせてもらう方法、貨物線の横に旅客のLRTだけ走るレールをつくる方法、貨物線の横に旅客のBRTが走る専用道路をつくる方法、この三つを想定した上で、いろいろな角度から検討しました。

まず、それぞれの方法ごとに、新小岩から金町までを移動するためにかかる時間やどれだけの人が乗るのかの予想、つくるために必要な費用なども計算をしました。また、その計算した費用よりも区内の移動がどれだけ便利になるのか、車に乗る人が減ってCO₂が減るかといった、まち全体に与えるよい効果がどれだけ大きいかということも確認をしました。

ほかにも赤字にならずに長く運行を続けていけるかどうか、国道6号線との交差点や金町駅との接続、こうしたところに大きな課題がありますが、どの方法なら新小岩から金町駅まで早期につながられるか、こういったことを総合的に検討しました。

こうしたいろいろな面から検討をしてきて、新小岩から金町までを早い段階でつなげられ、安定した経営や運行ができる可能性のあるBRTをベースにした方法でさらなる検討を進めていくことにしたところです。

森議員お話のとおり、LRTは魅力的な交通機関として、宇都宮、そして富山などでも導入され、まちへのよい影響がたくさんあります。区ではこうした事例も参考にしながら、BRTの方法を基に、新金線の線路用地の中に専用の道路を作ったり、駅施設や車両も魅力あるデザインを取り入れてまちのシンボルとなる新しい交通をつくることで、沿線にはお店や建物が建ち、多くの人が行き交い、葛飾区全体をにぎわいあふれるまちにしていきたいと考えています。

これから実現に向けてさらに具体的な計画を作っていく段階になりますが、新金線を活用しながら、将来にわたって地域の人に愛され、そして使われ、また区外の人が葛飾区に行ってみたい、住んでみたいと思われるきっかけになるような、わくわくする葛飾ならではの新しい交通が実現できるように、これからも取組を進めてまいります。

◆大山議員（こすげ小学校 大山智郷）

「温暖化と私たちの生活について」

私が温暖化と私たちの生活について考えたのは、温暖化のせいで春や秋の季節もとても暑いためだんだん外に出なくなっていることや、熱中症で亡くなっている人をニュースで見て、自分以外の人もこの驚異的な暑さに苦しんでいると気づいたためです。

調べてみたところ、年々区でも熱中症になり亡くなっている人が増加しています。実際に、月に239人もの高齢者の方が全国各地で亡くなっています。現状、この異常な暑さで学校でも体調不良者が増えています。そこで提案いたします。

私は、地球温暖化を止めるために、広報や新聞で対策法を伝授することや、暑さ対策としてもっと涼める場所を増やすこと、夕焼けチャイムの時間を早めること、ランドセルと背中の中に貼る湿布のようなものを支給することが良いと考えます。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆区長

大山議員のご意見のとおり、地球温暖化の進行は私たちの生活や健康に影響を与え始めています。そのため、地球温暖化を止めるための対策や、夏の暑さに対応する方法を考えていくことはとても大切だと思います。

地球温暖化を止めるために、葛飾区は23区に先駆けて、2020年2月に「ゼロエミッションかつしか」を宣言し、様々な取組をしています。区内17の小学校をはじめとした公共施設に太陽光発電システムを設置し、温室効果ガスを発生しないクリーンエネルギーの活用を進めています。また、「かつしかエコ助成金」という制度をつくり、区民の省エネ行動を推進し、将来の脱炭素社会を目指しております。

こうした取組については、広報かつしかや区のホームページでもお知らせしています。また、区の職員が小学校を訪れて、地球温暖化についての授業を行うなどしておりますが、これからも区民の皆さんにもっと知ってもらえるよう積極的に発信をしていきたいと思っています。地球温暖化については、とても強い関心を持っている方がいる一方で、あまり関心がない方もいらっしゃいます。ぜひ多くの方に関心を持ってもらおうと思っています。

外出時の熱中症予防については、クーリングシェルターや一時涼み所を地区センター、図書館などの公共施設に設置しています。また、一時涼み所については、理容室・美容室や薬局、小売店などの民間の協力事業所にも設置をして、区民の方が暑さを一時的にしのげる場所として開放しています。これからもクーリングシェルターや一時涼み所の設置箇所を増やすことができるよう努めていきたいと思っています。

また、身近な対策として帽子をしっかりとかぶることや、小まめな水分補給をぜひ行ってください。今後も大山議員の提案も参考にしながら、暑さ対策も進めていきたいと思っています。

◆神成議員（東邦大学付属東邦中学校 神成優希）

「公園でのポイ捨て問題について」

僕は公園でのポイ捨て問題について質問します。僕は遊具のない公園でいろいろな遊びをすることが好きで、よく友達と公園で遊ぶことがあります。友達と遊んでいると、一つ気になることがあります。それは、公園内でのポイ捨てです。僕たちがよく遊んでいる公園では、遊具がないばかりか、ところどころにペットボトルや空き缶が落ちているのが目立ちます。また、ごみ箱がある公園でも、それに気づかないのか、前述の公園と同じようなことが起きています。このような環境では、公園で心地よく遊べているとは言えません。

ポイ捨てに対しての葛飾区の対策をインターネットで調べてみたところ、葛飾区きれいで清潔なまちをつくる条例というものがありました。それは空き缶などのごみを捨てたら自主回収するなどの内容である条例でしたが、自分自身も調べている中で初めて知り、区民の中でもこの条例を知らない人がほとんどであるということが現状です。また、公園に設置されているごみ箱に関しても、そのごみ箱に家庭ごみを捨てている人が多く、撤去されています。

このような葛飾区の公園の現状の中で、どのようにすれば公園を心地よく使えるのかを考えました。

まず、一つ目は、公園内のごみを拾うボランティアを募ることです。ごみを拾うというだけのボランティアだと地味な仕事でやりたいと思う人は集まらないと思います。しかし、拾ったごみの量に応じてポイントなどをつければ楽しくごみ拾いを行うことができ、人が集まるので効率的にごみを片づけることができるのではないのでしょうか。

次に、二つ目は、ポイ捨てに対するポスターのコンクールを行うというものです。葛飾区には既に明るい選挙ポスターコンクールというものがありますが、それと同様にポイ捨てに関するコンクールを開催するのはどうでしょうか。これにより人々の意識が少しでも変わるのではないのでしょうか。

この二つの提案によって、公園が心地よいものへと変わるのではないのでしょうか。僕の考えた提案に対する葛飾区の考えをお聞かせください。

◆区長

神成議員のご意見のとおり、葛飾区きれいで清潔なまちをつくる条例により、葛飾区内全域でたばこの吸い殻やごみのポイ捨てを禁止しています。条例内容が多くの方の方々にルールとして守っていただけるよう、京成バスの車内放送や、駅周辺での清掃活動、歩きたばこ・ポイ捨て禁止が書かれた啓発プレートの設置など、啓発運動に積極的に取り組んでいます。また、毎年5月の最終日曜日は葛飾区環境美化の日を定め、区民一人一人がごみを捨てないという意識を深めてもらうことを目的にクリーン作戦を実施しています。当日は、町会や自治会、スポーツ団体の人たちを中心に、葛飾区内全域でポイ捨てされた空き缶、空き瓶、たばこの吸い殻などのごみを拾い、まちを挙げて清掃活動を行っています。

ご提案をいただいた1点目のごみを拾うボランティアを募るというアイデアについては、地域の方々に公園を管理する制度の中で、既に区内31か所の公園で地域の方々に公園の清掃をお願いしています。しかし、活動に参加されている方々が高齢化しています。管理されている公園数も年々減っています。いただいたご意見も参考にしながら、清掃等の活動に参加いただける公園を増やす方法を考えていきたいと思っております。

2点目のポスターコンクールについては、区民のポイ捨て禁止への意識が高まり、公園が心地よいものと変わることが期待できますので、提案として今後検討もしていきたいと思っております。また、いくつかの学校において、生徒が授業で作成したポスターを公園に掲出するという取組を行っています。現状として、設置している公園や区域が限られていますので、教育委員会とも連携をしてこうした活動を増やしていけるように、多くの区民の皆さんに知っていただけるように取組を進めたいと思っております。

今後も公園でのポイ捨てを減らすため、神成議員にいただいた意見を参考にしながら、皆様が気持ちよく利用できる公園となるよう取組を進めてまいります。

◆中尾議員（柴原小学校 中尾理帆）

「障がいの教育について」

私は障がいの教育について質問します。私たちの住む葛飾区では、障がいについて学ぶ機会が少ないと思います。なぜなら私のお父さんが特別支援学校で働いていて、いろいろな障がいがあることを教えてもらい、初めて知ったからです。

このままでは、いろいろな障がいがあることを知らずに生活してしまうことになりま。また、間違った考えや思いを持ってしまいます。そこで提案します。

いろいろな障がいについて、1年生から道徳の授業を使って学んだり、調べたりする機会を増やすことが必要であると考えます。実際に特別支援学校へ行ったり、出前授業をお願いしたりするのも良いと思います。なぜ学ぶ、知る必要があるのかというと、目に見える障がい、目に見えない障がいを知ること、障がいについて間違った偏見や差別を減らすことができ、より良い社会を築くきっかけになるとと思います。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆教育長

教育委員会では、障害のある人もない人も分け隔てなくお互いのことを理解し、尊重し、支え合いながら共に暮らす地域社会の実現が大切であると考えております。また、障害に対し間違った偏見や差別をなくすことについて、子どもたちへ教育していくことも大切だと認識しています。

現在、本区では、東京都立特別支援学校の小・中学部に通う子どもたちが自宅の近くにある区立小・中学校にも籍を置き、その区立小・中学校の子どもたちと交流しております。例えば、「学級活動のお楽しみ会に招待し一緒に活動する」「休み時間一緒に遊ぶ」「給食を一緒に食べ、交流する」「自己紹介カードを教室に掲示する」などの交流を行っております。

また、総合的な学習の時間などでは、アイマスクや白杖、車椅子などを用いた疑似体験を通して、障害のある方が感じる不便さを経験したり、支援の仕方を考えたりする学習が行われております。

こうした体験をきっかけに、さらに学びを深めようと障害について調べたり、まとめたり、発表したりする探究的な学習も行われております。これからも各学校において、障害への理解に向けた教育を推進してまいります。

◆泉議員（青戸小学校 泉汐里）

「葛飾教育の日について」

私は葛飾教育の日について質問します。私たちの住む葛飾区では、学校によって日程に違いがありますが、土曜日に学校へ行き、授業を受けています。このため、土曜日に予定が入れられなかったり、習い事へ行けなくなったり、学校が終わった後も予定があり、疲れがたまったり、授業を親に見られるのが嫌だなどの声も学校でもよく耳にしています。

生徒だけではなく、先生は日頃から朝早く学校へ来て、夜遅くまで学校に残っていることがあり、さらに土曜日まで朝早くから学校に来て授業をすると、先生にも家族がいるので、負担になってしまうと考えています。学校の先生にはいつも元気で楽しくいてほしいです。私たちは笑顔の先生が大好きなので、疲れていて暗い先生を見るのは辛いです。このままではますます先生も疲れてしまい、負担がさらに大きくなってしまいます。

そして、子どもたちも負担が大きくなってしまい、授業に気持ちが入らなくなってしまうます。親も、土曜日に朝から子どもの朝ご飯の支度などもしなくてはいけないので、負担がかかってしまいます。そこで提案いたします。

私は葛飾教育の日を廃止し、先生や子どもたち、親の負担を減らすことが必要であると考えます。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆教育長

葛飾教育の日は、平成16年度から開かれた学校づくりの一環として、学校での子どもたちの様子を保護者や地域の方に見ていただき、学校教育への理解を深める機会にしてもらうことを目的に、8月を除いて月に1回、授業参観を実施しております。

しかしながら、泉議員のお話にございますとおり、教育委員会では保護者や教職員の負担、子どもたちの土曜日の習い事やイベントへの参加等に配慮し、令和5年度から年に11回開催している葛飾教育の日のうち2回を平日に開催できるよう見直しをいたしました。また、葛飾教育の日に道徳授業地区公開講座や運動会、学芸会などを併せて実施した場合は、振替休業日を設定できるよう変更してまいりました。

子どもの思いだけでなく、保護者や教職員など、大人のことも考えた泉議員のお話にもございますとおり、子どもや保護者、教職員が負担を感じることなく、これからも元気に毎日を過ごせるよう、教育委員会では今後も葛飾教育の日のよりよい姿を目指して、その在り方を検討してまいります。

◆北村議員（青戸小学校 北村藍梨）

「葛飾教育の日の授業について」

私は葛飾教育の日の授業について質問します。私たちの住む葛飾区では葛飾教育の日があります。葛飾教育の日は、最近では平日に行うことが増えてきていますが、私の学校ではまだ土曜日に葛飾教育の日があります。

私は、なぜ葛飾教育の日は授業だけ行うのか調べたところ、授業公開を通じて保護者や地域住民に学校教育の内容を理解してもらい、学校と地域社会との連携を深めることを目的としていることが分かりました。しかし、現在行われている葛飾教育の日では、「学校と地域社会との連携を深める」ということができていないと思います。

学校では、あまり友達と遊べていない人や、友達をつくりたい人もいます。また、担任の先生ではなく、他の学年の先生とも遊んだりしながら、地域住民の人たちとの交流を深めて、学校だけでなく地域とのつながりを強くすべきだと私は思いました。

葛飾教育の日に授業だけ行うことで、あまり友達と遊べていなかった人や、もっと友達をつくりたい、増やしたいと思っている人も全然遊べなかったり、友達をつくれなかったり増やせなかったりすると私は思います。

また、学校の中で他の学年の先生と全く話すことができません。さらに、学校だけでなく、地域住民の人たちと交流を深めることができないため、地域とのつながりを強くすることができなくなると思いました。そこで私は提案いたします。

私は、学校の友達またはまだ友達ではない児童や学校の先生、地域住民の人たちと交流を深めるために、葛飾教育の日を授業だけではなく、保護者や地域住民と校庭や教室で遊べるようにすることが必要であると考えます。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆教育長

葛飾教育の日は、学校が保護者や地域との連携をより一層深め、教育の充実を図ることを目的に、授業参観を通して学校教育への理解を深めてもらう日としております。そのため、1人1台端末を用いた授業や、児童一人一人の考えを広げるための話し合い活動を生かした授業を実施しております。

一方、葛飾教育の日は保護者や地域との連携をより一層深めることを目的としているため、北村議員の意見にございますとおり、地域の方々と交流する活動や友達との関わりを深める活動も必要であると考えております。

現在、区内の学校の中には、防災教育の授業を葛飾教育の日に設定し、保護者や地域の方々にも参加していただいて地域全体としての防災訓練を行ったり、地域のお祭りが開催される日に葛飾教育の日を実施し、生活科や社会科の地域学習に充てていたりする学校もございます。

今後も各学校において、通常の授業だけではなく、保護者や地域の方々との交流する活動を取り入れるなど、葛飾教育の日の充実を図ってまいります。

◆佐野議員（奥戸小学校 佐野琴音）

「起立性調節障害に対する理解について」

私は起立性調節障害に対する理解について質問します。起立性調節障害とは思春期頃の発症が多く、自律神経の不調により、朝、起きたいのに起き上がれず、昼間にかけて立ちくらみやめまい・頭痛などの症状が見られ、学校に行けなくなったり、遅刻してしまったりすることが多い障害です。この障害は脳に血流が行くのに時間がかかるため、昼頃から夕方にかけて体調が良くなることが多いです。この障害は周囲から理解されることが少なく、午前中体調が悪いので怠けているように思われることもあるそうです。

現在、中学生では10%、小学生では5%の人たちが起立性調節障害を患っています。この障害がきっかけで不登校になる人も多いです。私の身内にもこの障害に苦しんでいる人がいます。出席日数を気にして、ふらふらになりながら学校に行くことも多々ありました。

現在、起立性調節障害についてまだまだ理解が足りていないのではないかと思います。進路などの問題もあるため、欠席や遅刻を恐れて心まで痛めるような問題が生じています。このままではますます気持ちも追い詰められて、不登校などの状態に陥ってしまうのではないかと思います。そこで提案いたします。

私は起立性調節障害を周囲が理解すること、そして欠席や遅刻に対しても配慮していただけるように葛飾区に提案したいです。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆教育長

起立性調節障害により、朝、体調が優れず、やむを得ず欠席や遅刻になってしまう児童生徒がいることは承知しております。そのため、学校では起立性調節障害だけではなく、体調不良で悩んでいる児童・生徒に対して、養護教諭を中心に担任や学年の教員が情報を共有して、一人一人に応じた支援を行っております。

起立性調節障害の原因については高等学校で学習しますが、小・中学校においても児童・生徒への病気の説明、欠席や遅刻に対する学校の柔軟な対応が重要であると認識しています。そのため、本区では、不登校傾向が見られたり、決まった時刻に登校することが難しい児童・生徒に対して、可能な限りオンライン授業や学習プリントの配付など、体調に応じた配慮を行い出席とするよう学校に伝えております。

引き続き、起立性調節障害等の症状に対する教員や周囲の理解を促し、学校生活において過ごしやすい環境を整えるよう努めてまいります。

5 第一委員会

【小・中学生議員】

| | | | | | |
|--------|--------|------|-------------|-------|----|
| 金町小学校 | 酒主 琉優音 | 委員長 | 花の木小学校 | 内山 絢香 | 議員 |
| 南綾瀬小学校 | 島田 花凜 | 副委員長 | 原田小学校 | 西谷 美里 | 議員 |
| 青戸小学校 | 古久保 孝健 | 議員 | 中之台小学校 | 滝川 凜 | 議員 |
| 川端小学校 | 和氣 武琉 | 議員 | 堀切小学校 | 佐藤 風 | 議員 |
| 北野小学校 | 加奈森 和泉 | 議員 | 中川中学校 | 森 晴希 | 議員 |
| 奥戸小学校 | 田中 優希 | 議員 | 東邦大学付属東邦中学校 | 神成 優希 | 議員 |

【理事者】

| | | | | |
|-----|---|-------|-----------------|-------|
| 区 | 長 | 青木 克徳 | 危機管理・防災担当部長 | 杉立 敏也 |
| 副 区 | 長 | 植竹 貴 | 環境部長 | 木下 雅彦 |
| 副 区 | 長 | 長谷川 豊 | 都市整備部長・交通政策担当部長 | 吉田 眞 |
| 総務部 | 長 | 今井 直紀 | 都市施設担当部長 | 忠 宏彰 |

1 議事

(1) 開会宣言

◆酒主委員長（金町小学校 酒主琉優音）

出席委員は定足数に達していますので、これより子ども区議会第一委員会を開きます。

(2) 区長挨拶

皆さん、こんにちは。先ほど本会議を行い、続いて委員会を実施します。ぜひ皆さん活発な意見交換をしてください。

普段の委員会では、例えば、予算のことや条例のことなど、区で行う事業について、委員会に報告し議論したうえで、本会議で決めております。

今日は皆さんの意見に各担当の部長からお答えしますのでよろしくをお願いします。

(3) 委員会質問

◆古久保委員（青戸小学校 古久保孝健）

「騒音について」

私は騒音について質問します。私たちの住む葛飾区ではマンションの床の防音効果がすごく悪いです。小さい子どもは活発で、いつも走り回ったりジャンプしたりします。注意しても、子どもたちが言うことを聞かないので、布団や防音シートをしていて、できるだけほかの人に迷惑をかけないように工夫をしましたが、下の階の人が家に来て、「うるさいから静かにしなければ引っ越ししなさい」と注意され、警察も来て警告されてしまいます。そこで提案いたします。

私はマンションを建設する際、防音がされているかどうか、区で検定を実施するのがよいと思います。

◆都市整備部長

マンションなどの建築物は建築基準法という法律に基づいて建設されています。この建築基準法は、地震や火災に耐え得る構造基準や、衛生的で安全な設備基準を設けることで、建築物に関わる人々の生命や財産を守ることを目的とした最低限度の基準となっています。従って、マンションを建てる際の防音対策を基準に設けることは、法律上難しい状況となっています。

また、日常生活で発生する騒音について細かく制限をしてしまうと、毎日の生活に大きな制約をかけることになってしまうため、区で指導できることも限られます。このような共同住宅で騒音の問題が起こらないようにするには、住民一人一人がお互いに思いやり、周囲の迷惑にならないよう気配りを持って生活することが大切です。

その上で、葛飾区では、こうした子育て世帯特有のトラブルを防止し、快適に生活ができるようなマンションの普及を目的とした子育て型優良集合住宅の認定制度を令和5年度に策定をいたしました。この制度では防音性能を有することはもちろんのこと、部屋の大きさやキッズルームの設置などの認定基準を設けています。これからもこの認定制度を活用し、子育て世帯に適した住環境の整備を推進してまいります。

◆和氣委員（川端小学校 和氣武琉）

「放置自転車について」

私はよく電車に乗ります。その時、駅の飲食店にたくさん放置されている自転車を見かけます。そこで私はテーマを放置自転車にしました。

よく自転車を見かけるのは、京成立石駅や新小岩駅です。京成立石駅はところどころに自転車が放置されています。そして新小岩駅は駅周辺、例えば、北口を出ると飲食店などがありますが、お店の駐輪禁止のところに放置されています。

近年、駐輪場は増えています。しかし、その駐輪場は、駐輪場代を携帯電話で支払うところであるため、利用者は、携帯電話が使える世代に限られてしまうと考えられます。また、駐輪場が駅から近いため満車になりやすく、やむを得ず駐輪禁止のところに停めてしまうのではないのでしょうか。

葛飾区の放置自転車の取締り方法は、まず放置自転車に警告札を貼り、自転車の写真を撮ります。その後、1時間以上持ち主が来ないときには回収します。1か月保管して、持ち主が来たときには3,000円の罰金が発生します。持ち主が来ないときには、自転車はリサイクルされることもあります。

放置自転車は僕たちの身近な出来事であり、多くの人の悩みになっていると思います。そこで私は提案します。

私は放置自転車に迷惑している区民の皆様のために区の駐輪場を拡大し、自転車を停められる数を増やしたほうがよいと考えます。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆交通政策担当部長

お話にあったとおり、京成立石駅と新小岩駅は、区内でも放置自転車が多い地域となっています。そこで区では、先ほど委員からお話がありましたとおり、警告札の貼付や撤去のほか、区営駐輪場の整備や駅前放置自転車追放キャンペーンの実施など、放置自転車を無くす取組を行ってまいりました。その結果、東京都における調査では、令和元年度には区内全域で1,275台あった放置自転車を、令和6年度には887台まで減らすことができました。

しかし、区役所には依然として区民の皆様から、放置自転車の改善に関するご意見が多く寄せられております。放置自転車がありますと、火災など有事の際に緊急車両の活動を阻害する恐れがあるなど、引き続き解決していかなければいけない課題であると認識しています。

また、駐輪場の支払い方式に関しましても、お話にありましたように、キャッシュレス化することで利便性を高めつつも、携帯電話でのお支払いができない方のために、現金払いにも並行して対応してまいります。駐輪場を拡大し、駐輪できる台数を増やしたほうがよいというご提案につきましても、鉄道駅周辺の整備を進めているほか、駅から一定の距離があり、空きがある駐輪場の料金の見直しを検討するなど、一層駐輪しやすくなる工夫をしてまいります。

さらに、鉄道事業者、飲食店などはそれぞれの施設の利用者のために自ら駐輪場を整備してもらうよう協力を促してまいります。

こうして、区と様々な関係機関が一体となって駅周辺の駐輪環境を創出して、放置自転車をなくすための取組を進めてまいります。

◆加奈森委員（北野小学校 加奈森和泉）

「公園のバスケットボールのスペース作りについて」

私はバスケットボールが大好きで、よく家の前や公園で自主練習をしています。しかし、家の前で練習をすると、隣の家の人に注意されてしまいます。公園は小さい子やお年寄りがたくさんいて、スペースがなくてあまり練習ができません。また、小さな子がそばにいたり、ボールが当たってしまう危険性があります。さらに、公園でバスケットボールの練習をすると、音が響いてしまうことが気になります。

公園でバスケットボールをしている同学年くらいの子がたくさんいます。全国的にバスケットボールをしている人口は増えています。バスケットボールのスペースをつくることで、もっと楽しくバスケットボールができて、スポーツをする機会が増えると思います。そこで提案いたします。

私は、公園でバスケットボールをしたい子どもから大人のために、広い公園を少し削って床の音が鳴りにくいバスケットボールのスペースをつくるのがよいと考えます。私の提案に対する区のお考えをお聞かせください。

◆都市施設担当部長

公園では、バスケットボールを含めたボールで遊ぶ人や散歩をする人などいろいろな利用者の方々、小さな子どもから大人まで誰もが楽しく快適に公園を利用できることが大切だと考えています。

一方で、お話にありましたとおり、公園でバスケットボールの練習をするとほかの利用者にボールが当たってしまうことや、ドリブルの音の問題などで、ほかの利用者や公園の周りに住んでいる人に迷惑がかかってしまうこともございます。

現在、葛飾区ではバスケットボールゴールが設置してある公園が5つございます。公園を作るときや直すときに、ボールで遊んでも周りの方々にも迷惑にならない広い場所がある場合は、公園の一部を使って、ボールが外に飛び出さないようにネットで囲ったボール広場を作り始めています。

加奈森委員にいただいたご意見も参考にしながら、今後もバスケットボールを含めたボールで遊ぶ人やほかの利用者にとって、楽しく快適に利用できる公園を増やしていくように取り組んでまいります。

◆田中委員（奥戸小学校 田中優希）

「水害について」

水害についての提案です。葛飾区は複数の川に囲まれた低地であり、地下水くみ上げによる地盤沈下で区の半分近くが東京湾の海拔ゼロメートル地帯であるため、水害のリスクが非常に高い地域です。ですが、年に1回ほどしか訓練をしていません。いつどこで水害災害が起きても安全に逃げられるようにもっと訓練をしたほうがよいと思います。私の提案について区のお考えをお答えください。

◆危機管理・防災担当部長

田中委員の質問のとおり、葛飾区は海よりも土地が低い場所も多く、水害が発生したときの被害が大きくなる可能性が高い地域です。だからこそ、水害が起きても命を守るための日頃の備えがとても大切です。

まず、葛飾区の取組について説明します。区役所の職員は、防災行政無線の訓練や、災害が起きたことを想定した総合防災訓練という訓練などを定期的に行っています。また、地域の方々と一緒に行っている取組として、水害ハザードマップや地震の説明会、防災講習会の開催、学校を会場とした避難所の運営訓練などがあります。

一言で訓練と言っても様々なやり方があり、家族で水害や地震について話し合うことや、学校や地域のイベントで防災について学ぶことも立派な訓練です。そして、いざというときには、自分たちの命は自分たちで守る「自助」と、地域の全員で助け合う「共助」が大切です。皆さんの家でも、非常持ち出し袋の準備や、近くの避難場所や家族との連絡方法を話し合うなど、身近なところから防災について考えてみてください。また、ご近所に、災害時に助けを必要とする人がいないかを確認してみましょう。

葛飾区では、皆さんが安心して暮らせるよう引き続き水害への対策に取り組んでいきます。

◆内山委員（花の木小学校 内山絢香）

「ごみ集積所について」

私はごみ集積所について質問します。私たちの住む葛飾区では、学校の近くにごみ集積所があり、ネットはかかっていますが、毎回通るたびカラスが漁っていて、ごみが地面に散らばっています。そのため、今のままだと集積所の前を通る人が少なくなってしまうことや、集積所に臭いが残ってしまうという問題が生じてしまいます。そこで提案します。

私はごみ集積場を、ネットから箱にすることがよいと思いました。また、臭いを取るような機能をごみ箱につけるべきだと考えます。

◆環境部長

葛飾区ではカラスなどによるごみ散乱を防ぐためにごみ集積所利用の方々に青い防鳥ネットを無償で配っています。このネットについては、集積所の清掃を含め、ネットの管理についても集積所利用の皆様をお願いしています。

今回ご提案いただいた臭いを取るような機能のついた箱については、集積所の環境美化の方法としてとてもよいアイデアだと思います。

現在、利用者にお配りしているこの防鳥ネットは、道路交通法という法律に基づいて車道や歩道の通行の妨げにならないように片づけることを約束してお渡ししています。そのため、このネットからご提案のあった箱に変えることは、この法律に違反しないようにごみ集積所へ設置しないといけないこと、また、この箱の管理を一体誰がするのかなどの問題も同時に生まれていきます。このため現実的には導入が難しいのではないかと考えています。

ただし、管理が行き届かない集積所も区内には多くあります。そのため、区民の皆様から集積所の状況が悪いというご相談をいただいた場合は、現在、注意看板の設置や利用者へのチラシの配布などを行っているほか、新たなごみの集積場をおうちから目の届く範囲の場所に設けることも実施しています。

いずれにしても、区民の皆様と区が協力し合いながらごみ集積所の環境美化を進めていくことがとても重要であると考えています。

今後も引き続き、地域の環境美化については、地域の方々とともに取り組んでいきたいと考えています。

◆島田副委員長（南綾瀬小学校 島田花凜）

「犬が入れる公園について」

私は犬が入れる公園について質問します。私は去年の夏、葛飾区に引っ越してきました。それから冬に犬を飼い始めて、私は散歩当番になりました。引っ越し前は、近所の公園で人も犬も楽しく過ごしているのを見かけていましたが、葛飾区は普通の道を歩いている姿しか見かけません。また散歩している人達も道端で少しおしゃべりするだけです。

私の家の近くには約7つの公園があります。そのうち犬の入れる公園は20分ほど歩かないと到着しないお花茶屋公園1つしかありません。また、インターネットで調べたところ、葛飾区には公園が約316もあります。しかし、犬が入れる公園は約47しかありませんでした。犬が自由に走り回れるドッグランがある公園は水元公園しかありませんでした。そこで、私はどのようにすればみんなが楽しく公園を使えるかを考えました。

一つ目は、大きな公園にもっとドッグランをつくることです。葛飾区のいくつかの公園には広いスペースがあります。そこにドッグランをつくれればいいと思います。

二つ目は、犬が公園に入れる時間帯を分けることです。子どもたちが遊べる時間と犬が公園に入れる時間を分ければ、コンクリートしか歩けなかった犬も、土の上を歩けて、土の匂いも嗅げるから嬉しいと思います。それに、犬が苦手な子や幼い子も安心して遊べるようになって、みんなが公園を楽しく利用できていいと思います。私の考えを葛飾区で検討してください。

◆都市施設担当部長

葛飾区の公園では、面積の大きい公園は犬などのペットの散歩ができますが、小さい公園については禁止しております。公園を利用する方の中には犬が苦手な人もいます。そのような方と十分な距離が取れる大きな公園のみ、また、糞を持ち帰ってもらうなど、一定の条件を守ってもらうことを約束事としてペットの散歩ができるようにしております。

1点目のご提案であるドッグランをつくることについては、現在、例えば河川敷などの住宅地から比較的離れた広い公園に設置することを検討しております。

2点目の犬が公園に入れる時間帯を分けることについては、犬が苦手な方とのトラブルを避けるメリットがあると思っております。しかしながら、公園はいつでも誰もが自由に公園を利用することも大切です。時間帯を分けてしまうと公園を利用したい人が利用できなくなることも考えられます。

今回いただきましたご提案も参考にしながら、公園利用者の皆様が公園を快適に利用できるように取り組んでまいります。

◆酒主委員長（金町小学校 酒主琉優音）

「高架下の通路の安全について」

金町銭湯の近くにある常磐線の高架下の通路を僕はよく利用します。道幅が非常に狭く、「自転車の人は降りて通行するように」という看板がありますが、ほとんどの人が自転車を降りずに乗ったまま通行しています。自転車を引いて歩いていると、前からものすごいスピードで通り過ぎていく自転車に怖い思いをしたり、後ろから自転車に乗ったまま来た人が、歩いている自分にイライラした態度を取ったりします。そこで提案します。

子どもやお年寄りが安全に通れるような道幅の広い通路に変える工事を検討してみてもはどうでしょうか。僕の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆都市整備部長

酒主委員長のお話のとおり、金町銭湯の近くにありますが、常磐線の高架下の通路は、道路幅が2メートル未満と狭く、安全で快適な通行環境を整えることが課題となっています。区では、道幅が狭い中、歩行者が安全に通れるように、自転車利用者には降りて通行いただくようポールや注意を促す看板などを設置してまいりました。しかし、自転車利用者の中には、今回酒主委員長が体験されたように、安全に気を配った通行ができてない方もいらっしゃると思います。

そこで、新しく幅の広い通路が造れないか、あるいはもう一本通路を造れないかなどについて検討しており、常磐線の持ち主であるJR東日本とその実現に向けた課題などについて話し合いを行っています。

引き続き、JR東日本と話し合いを行い、安全に通行できる通行環境を整えられるよう検討を進めてまいります。

(4) 自由質疑

◆内山委員（花の木小学校 内山絢香）

「区の予算について」

区にはどのぐらいの予算があるのですか。

◆区長

予算には、一般会計という予算と、国民健康保険などの特別会計という予算があります。一般的に言われるのは一般会計という予算で、現在は約2,700億円あります。一般会計は、例えば、福祉の関係や、子育てのこと、高齢者の対策、それから皆さんの学校のこと、これで大体半分ぐらい使ってしまう。そして、実際の予算のうち、大体7割から8割は、経常的に使う経費と言って、大体決まったことに使うようになります。ですので、なかなか新しいことに取り組むことが困難なので、新しい事業に取り組むための予算を生み出すために、行財政改革とあって、これまで取り組んできたものを効率化できないか、あるいはやめることはできないか、検討しながら予算編成を毎年行っています。

昨日、国の予算が120兆を超える金額になると発表されましたが、葛飾区でも同じように予算をどのようにするかについて、この前の選挙などを通じて皆さんからご意見をたくさんいただきましたので、それらを踏まえて考えていきたいと思っています。

◆酒主委員長（金町小学校 酒主琉優音）

「区の発展について」

最近ではショッピングモールのMARK ISがオープンし、金町が発展していると感じます。今後はどのように区が発展していくのか教えてください。

◆区長

区には、亀有や金町、新小岩、京成立石、それから高砂などいろいろな駅があり、駅の周辺はたくさんの方が来ます。30～40年ぐらい前までは、駅の周辺にも木造住宅密集地域といって燃えやすい建物がたくさんありました。そこで、各駅周辺で再開発を行い、道路を広げることや、駅前広場をつくることに取り組んできております。

金町については15年以上前に、いろいろな大学に話をして、東京理科大学を誘致することになりました。そして、理科大の前の道路を広げることや、お話のあった駅の北側の再開発を現在進めています。なるべく駅の周辺は、皆さんが安全に住むことができ、にぎわいがあるまちを作っていこうと思っています。

一方で、駅から少し離れた場所には低層マンションが建てられており、皆さんにとって暮らしやすい環境になっています。また、暮らしやすいまちには、緑を取り入れることもとても大事だと思います。「全国みどりと花のフェアかつしか」が来年開催されますが、フェアの開催をきっかけに、より一層緑や花でまちを彩り、皆さんが暮らしやすいまちをつくっていききたいと思います。

葛飾区は中小企業が集結するものづくりのまちでもありますので、工場をしっかり運

営できるような取組も今いろいろ進めています。

まちづくりは、区全体がよくなるように考えなければいけないと思います。金町のようにたくさん人が集まる場所は、みんなが安全に交通できるように、また駐輪場も整備を行い、そして皆さんが暮らしやすいまちをつくるための取組をしっかり進めていきたいと思います。

◆島田副委員長（南綾瀬小学校 島田花凜）

「犬が入れる公園について（追加質問）」

先ほど犬が入れる公園について質問したのですが、現在、犬が入れそうな公園はありますか。

◆区長

現在、高齢者の方や若い方も含めて、犬や猫を飼う方は非常に増えており、葛飾区でも、犬が入れる公園を作ることについて検討しています。

一方で、犬が怖いという方や吠える声がうるさいなど、いろいろな意見もありますので、なるべく皆さんに影響のないところに作るために一生懸命検討を進めています。いろいろな意見を聴きながら、できれば犬を飼う多くの方が散歩できる、そしてみんなが楽しめる公園を作っていきたいと思います。

◆森委員（中川中学校 森晴希）

「新金線 BRT の車両について」

もし、新金線がBRTで決定するなら車両はどんな車両ですか。

◆区長

BRTであってもかなりの部分は専用道になりますので、専用道を走れるような、例えば2両連結のバスなどの専用車両を考えています。また、正確な時間で走ることや、一定のスピードを維持すること、それから多くの方に乗っていただくことがとても大事なので、そういったことを含めて検討を進めています。

LRTでなくても、BRTの良さもあります。専用道であるため、運行時間が正確で、たくさんの人を運ぶことができます。ただBRTの場合は、例えば、新金線の途中でどうしても専用道から出なければならぬ場所があるときに、BRTなら一般道路に出ることができますし、また専用道に戻ることも可能です。このような理由から、今回はBRTを選択します。

BRTの良さを生かして、葛飾をにぎやかなまちにできるように考えていきたいと思います。

(5) 感想

◆佐藤委員（堀切小学校 佐藤風）

本日の子ども区議会でいろいろな質問があったと思うのですが、青木区長の感想を聞きたいです。

◆区長

皆さんが、日頃から思っていることについてきちんと勉強し、興味があることや、困っていること、区にしてほしいことなどを自由に発言してもらったことはとてもいいことだと思います。

様々な課題がありますが、話し合いを行うことや、話を聞くことによって前に進んでいくのだと感じました。民主主義というのはみんなで議論をして、話し合いながら進めていくものです。皆さんも、今日の子ども区議会の経験を生かし、学校でもみんなで話し合い、どのように進めていくかを検討してもらえるととてもいいと思います。

今日はとてもすばらしい発言が多かったと思います。皆さんの意見を参考にして区政を進めていきます。

6 第二委員会

【小・中学生議員】

| | | | | | | | |
|--------|----|----|------|---------|-----|-----|----|
| 幸田小学校 | 小林 | 璃愛 | 委員長 | 慶應義塾中等部 | 日下部 | 凜大朗 | 議員 |
| 白鳥小学校 | 黒澤 | 有匡 | 副委員長 | 新宿中学校 | 坂崎 | 紅羽 | 議員 |
| 上平井小学校 | 出口 | 聡馬 | 議員 | 柴原小学校 | 中尾 | 理帆 | 議員 |
| 柴原小学校 | 小沼 | 幸音 | 議員 | 青戸小学校 | 泉 | 汐里 | 議員 |
| よつぎ小学校 | 桐山 | 愛莉 | 議員 | 青戸小学校 | 北村 | 藍梨 | 議員 |
| 西亀有小学校 | 榊 | 美咲 | 議員 | こすげ小学校 | 大山 | 智郷 | 議員 |
| 新宿中学校 | 横山 | 夢来 | 議員 | 奥戸小学校 | 佐野 | 琴音 | 議員 |
| 金町中学校 | 村上 | 智優 | 議員 | | | | |

【理事者】

| | | | | | |
|----------|----|----|---------|----|----|
| 教 育 長 | 市川 | 茂 | 教育委員会委員 | 壺内 | 明 |
| 教 育 次 長 | 山崎 | 淳 | 教育委員会委員 | 谷部 | 憲子 |
| 学校教育担当部長 | 山梨 | 智弘 | 教育委員会委員 | 井口 | 信二 |
| 教育長職務代理者 | 久保 | 洋子 | 教育委員会委員 | 田中 | 健 |

1 議事

(1) 開会宣言

◆小林委員長（幸田小学校 小林璃愛）

出席委員は定足数に達していますので、これより子ども区議会第二委員会を開きます。

(2) 教育長挨拶

本会議場での一般質問に続いて、分科会での質問になります。先ほどの一般質問もそうですが、皆さん子ども議員の一人一人の考えは、大変素晴らしいと思っています。学校のこと、それから区全体のこと、いろいろなことに皆さんが関心や思いを持っているのだなということが改めて分かりました。

この分科会でもしっかり自分の思いを私たちにぶつけてください。それぞれ担当の区の職員が丁寧にできるだけ頑張ってお答えしますのでどうぞよろしくお願いいたします。自信を持って大きい声でお願いします。

(3) 委員会質問

◆出口委員（上平井小学校 出口聡馬）

「給食の時に机をつなげられないことについて」

私は、給食の時に机をつなげられないことについて質問します。私は給食を食べるのが大好きです。友達と話すのも大好きです。幼稚園の頃、新型コロナウイルスが流行したときに、アクリル板で仕切りを作っていましたが、机をつなげることができました。ところが、小学校に入ると机をつなげることさえもできなくなってしまいました。

幼稚園の頃、机をつなげて食べていたことで、苦手に感じていた人と仲良くなるきっかけが生まれた経験があります。小学校に入ってからも、机をつなげたいと思っていましたが、新型コロナウイルスが流行しているから仕方がないと思っていました。ところが、ほかの小学校に通っている数人が、机をつなげて食べているという話を聞きました。全ての学校で統一されていれば納得できますが、学校によって違うと不平等に感じます。そこで、提案いたします。

給食で机をつなげるかどうかを区で決めていただけないでしょうか。私の提案に対する区の考えをお聞かせください。

◆教育次長

給食のときの机の配置につきましては、校長や担任の先生が、学校やクラスに合った給食指導を行う必要があるため、本区では統一した取決めをしておりません。

机をつなげることのメリットは、苦手に感じていた人と仲良くなるきっかけが生まれたと出口委員がお話しされたように、会話をしながら楽しく食べることができることが挙げられます。

一方で、机をつなげないことのメリットもあります。新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症対策のほか、机の移動に時間を取られないこと、あるいは集中して給食を食べることができることなどが挙げられます。

学校給食は法律で栄養管理について定められています。各学校の栄養士の方々は、各栄養素をバランスよく皆さんが摂取できるように献立を考えてくれています。短い給食の時間で、しっかりと給食を食べて栄養を摂取するために、机をつなげないということも考え方の一つだと思っています。

出口委員のクラスの皆さんも、それぞれ様々な考えを持っていらっしゃると思いますので、クラスの中で話し合っ、その結果を担任の先生に提案してみてもよろしいかと思っています。

教育委員会では、給食が大好きという出口委員の言葉を励みにして、これからも栄養バランスの取れたおいしい給食づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

◆小沼委員（柴原小学校 小沼幸音）

「区の教育の予算について」

私の小学校は周りにたくさん木が生えていて、学校では多くの生き物が観察できます。理科の授業がはかどるのはよいことですが、先日、弟が見せてくれた写真にはどうやらシロアリのようなアリが写っていたのです。ネットで検索してみたところ、特徴がかなり一致していて、もしシロアリだったらと思い様々な危険性などについて調べてみました。シロアリが周りの木を食べてしまうと木が倒れてしまうこともあるようです。

今年の夏、スズメバチが学校の建物に巣をつくるなど、様々な危険なことが学校の校庭で起きているかもしれないと思いました。もし私たちの学校などに関する安全点検を行っていただける費用があれば、児童のためにも教育の場に関する安全点検をしていただけないでしょうか。

◆教育次長

初めに、シロアリについてお話をいたします。樹木にシロアリなどの虫がついた場合には、その部分の木を切ったり、消毒したりして、木がそれ以上傷まないようにしています。また、スズメバチの巣についてですが、スズメバチが巣をつくってしまった場合には、専門の方をお願いして巣を撤去しています。

次に、学校の安全点検についてお話をいたします。安全点検は、日頃から学校の先生たちが行ってくださっています。また、校庭の遊具などは、専門の方をお願いして点検を行っています。このほか、以前、都内の他の学校で、校庭に釘が落ちていて怪我をするという事故がありました。その際は、葛飾区内の小・中学校全ての学校で金属探知機による緊急点検を行うなど、児童・生徒の皆さんが安全に学校生活を送れるように予算を使ったこともありました。

これからも、教育委員会では、児童・生徒の皆さんが安全に、そして安心して勉強したり遊んだりできるような環境づくりのために予算を使っていきたいと考えております。

◆桐山委員（よつぎ小学校 桐山愛莉）

「学校の防災機能を高めるためには」

よつぎ小学校が新しく学校を建てるため、学校の防災をテーマにして考えたいと思いました。もしも大きな地震が来たときに、校舎が崩れて怪我をしてしまったり、命の危険にさらされたりすることがないように新校舎を建ててほしいです。また、道路が瓦礫で塞がれてしまった際、災害支援物資が届かなくなってしまうたら大変です。地震のときの備えとして、食料や水、簡易トイレ、温かい毛布なども必要です。そこで提案いたします。

私は、地震に備えるために、税金の一部を使い、葛飾区の古い校舎を新しくしたり、防災用具を準備したりすることがよいと考えます。私の提案に対する考えをお聞かせください。

◆教育次長

桐山委員からお話のありました、よつぎ小学校をはじめ、葛飾区内の小学校や中学校を新しく建替えるときには、震度6や震度7のような大きな地震が起きた場合にも、校舎が崩れてしまって、児童や生徒の皆さんが怪我をしてしまうことがないように、しっかりと設計して校舎を建設しています。また、大雨が降り続いて、万が一洪水が起きた場合にも、安心して避難することができるように、体育館を校舎の2階以上に作るなど、災害に強い学校づくりも進めています。

地震への備えにつきましては、各学校の備蓄倉庫というものがありますが、その倉庫の中には1,000人分の非常食を備蓄しています。また、毛布や断熱マット、それから簡易トイレ、マンホールトイレなど、避難生活に必要な様々な物資も備蓄しています。さらに、学校以外に、葛飾区内23か所の備蓄倉庫にも災害対策用の物資を保管して、学校の備蓄品が不足する場合の備えをしています。

今後も区の大災害対応力の向上を目指して、区内備蓄物資の内容について引き続き検討を進めていきたいと考えています。

◆榊委員（西亀有小学校 榊美咲）

「不審者対策について」

学校情報通信アプリに、不審者情報が届くことがあります。以前、私も友達と学校からの帰り道で知らない人に写真を撮られ、とても怖い思いをした経験があります。そこで、不審者対策について次の三つを提案します。

第一に、通学路や公園、住宅街に防犯カメラや街灯の数を増やすことです。

第二に、助けを求めることができる「こども110番の家」の目印になる表示をもっと見つけやすいものにするということです。

第三に、学校で不審者に出会ったときの対応を練習する時間をつくることです。

以上の三つの対策を行うことで、犯罪の抑止力になり、万が一、不審者が現れたときにも慌てずに行動でき、子どもも大人も安心して暮らせるようになると思います。

◆学校教育担当部長

初めに、防犯カメラや街灯を増やすことについてです。街頭防犯カメラを通学路や公園、住宅街に設置することは、犯罪の防止や、不幸にも起こってしまった犯罪の早期解決にはとても有効な手段でございます。また、街路灯を増やして夜道を明るくすることは、犯罪の発生を防ぐとともに、区民の皆さんの安心感にもつながるため、とても重要なことと考えてございます。

そこで、区では、通学路や公園に街頭防犯カメラを設置するとともに、自治町会や商店会が街頭防犯カメラを設置した場合にかかった費用の一部を補助してございます。また、自治町会が私道に防犯灯を設置した場合も同様にかかった費用の一部を補助するなど、区はより多くの街頭防犯カメラや防犯灯の設置を積極的に進めているところです。

次に、こども110番の家についてお答えいたします。ご質問にありますこども110番の家は、葛飾区におきましては「こどもひまわり110番」と呼んでございます。小学生の皆さんが不審者などに対して、身の危険や不安を感じたときに緊急避難することができるよう、このこどもひまわり110番のプレートを地域のお店や家に目印として掲示してございます。このプレートは、葛飾区立小学校のPTAでつくる、葛飾区立小学校PTA連合会が作成をいたしまして、葛飾区内のお店や地域に住んでいる方々へ協力をお願いして掲示をさせていただいているところです。子どもが不安を感じ、緊急避難場所としてお店や家に来た場合には、子どもを保護してもらい、必要によっては警察に連絡するようお願いをしております。

プレートの中には、古くて色が薄くなっているものや、破損しているものなどがあるので、協力していただいているお店や家に新しいものに変更していただくようお願いするほか、子どもたちがすぐにプレートを見つけられるよう、PTA連合会と協力をして、分かりやすい場所へ移動するなどの対応を行ってまいります。

次に、学校での不審者対応の練習についてです。教育委員会といたしましては、区立学校全てにおきまして、毎月1回、避難訓練を行うよう伝えております。その内容の一つとして、不審者対策の内容があり、不審者が学校に入ってきたときの対応方法等につ

いて学んでおります。

また、セーフティ教室というものがございますが、こちらの教室では、皆さんご存じの「いかのおすし」など、放課後などに不審者に遭ったときにどのように行動するべきかについても学んでございます。

さらに、夏休みなどの長期休業日に入る前には、生活指導担当の教員から不審者対策に関する安全指導も行っております。

このように、区や教育委員会では、様々な教育活動を通して不審者対応について学ぶ機会を充実させるとともに、自治町会や商店会などの地域団体やPTAの皆さんと協力しながら、地域の防犯力を向上させて、子どもたちが安全・安心に生活できる環境づくりを進めてまいります。

◆横山委員（新宿中学校 横山夢来）

「いじめ・不登校対策の強化」

私は、いじめ・不登校対策の強化について質問します。私たちの住む葛飾区では、小・中学校の授業でいじめについてよく勉強しますが、なかなか無くならない、ゼロにならないという状況があります。このため、いじめや不登校で悩んでいる人が減らなかったり、増えてしまったりすることがあります。私も小学6年生のときにいじめに遭い、卒業式に出られるか分からない状況にありました。そこで提案いたします。

私は、子どもと先生などが二者面談をして、子どもの話を聞いて不安などを取り除いてあげたり、減らしてあげたりすることが重要だと考えています。

◆学校教育担当部長

葛飾区といたしましても、全ての子どもが持つ「個人として尊重され、幸せに生きる権利」、こうした権利を侵害するいじめにつきましても、決して許されるものではないと考えており、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の取組を進めているところでございます。

ご提案いただきました二者面談につきましては、児童・生徒の抱える課題を解決する上で有効であると認識しております。現在、全小・中学校にスクールカウンセラーを配置いたしまして、児童・生徒が不安や悩みを心理の専門家に安心して相談できる体制を整えております。

また、中学校におきましては、不登校対応巡回教員を配置し、生徒一人一人の状況をより丁寧に見取り、生徒の不安や悩みに寄り添った対応をしております。

今後も、児童・生徒の不安や悩みに速やかに対応できるよう、児童・生徒への相談体制の充実に取り組んでまいります。

◆村上委員（金町中学校 村上智優）

「小中学生の有給休暇制度について」

私は、毎日元気に楽しく学校に通っており、部活動にも参加し、充実した学校生活を送っています。しかし、ごくたまに心や体が疲れて元気がなくなってしまうことがあります。そのときは、朝起きようとしても体が言うことを聞きません。こんなときは学校をお休みするのですが、ずる休みをしているようで何となく心が晴れず、罪悪感がありました。そんなときに、母が、「お母さん頑張っているから、明日は仕事をお休みしてのんびりするのよ」と言っているのを聞き、学生にも有給休暇のような制度があったら罪悪感なくお休みすることができるのではないかと考えました。

学校はとても大切な場だと思いますが、時にはお休みをしたくなります。そこで、学生にも、年に数日休んでも欠席扱いにならない日があってもよいのではないのでしょうか。休んでもよい日があるだけで心に余裕が生まれ、より楽しい学校生活を送ることができると思います。より充実した学校生活のため、小・中学生の有給休暇制度の導入を提案いたします。

◆学校教育担当部長

子ども一人一人の価値観や自己の生き方が多様化するとともに、校外での学びの重要性の高まりや、家族との過ごし方の変化により、学校における出欠席に関する考え方も様々なものがあると考えてございます。

近年、子どもたちが自分自身で判断し、保護者の同意を得て休みを選択することができる「こどもの休暇制度」や、子どもが保護者とともに平日の校外で体験や探究の学び活動を企画し実行する場合には、学校に登校しなくても欠席にならない日を設けるなど、新たな取組を行っている自治体も出てきてございます。

しかしながら、葛飾区におきましては、学校以外の場所で学習活動を行った場合においても、学校長が認めれば出席扱いにできるようにするなど、柔軟な対応を行っている学校もございます。こうしたことから、現時点におきまして小・中学生の有給休暇制度を実施する予定はございませんが、今後、国や東京都の動向を注意深く見守ってまいりたいと考えてございます。

◆日下部委員（慶應義塾中等部 日下部凜大朗）

「区民プールの問題点について」

葛飾区には、主に奥戸と水元に区営のプールがあります。私は部活動で水泳をしており、土日などは奥戸総合スポーツセンターのプールを使って自主練をしています。そのときに感じた不便さをいくつかお話しします。

まず、50メートルを往復するコースがないということです。奥戸総合スポーツセンターのプールでは、50メートルを続けて泳ぐには、コースの下を潜り隣のレーンに移動しないと行けません。水泳をしている身としては、50メートルを続けて泳げるプールが欲しいです。

次に、夏場はプールに遊びに来る利用が増えるため、狭い更衣室は大変混雑することや、プールのフリーコースが芋洗い状態になってしまうという問題があります。また、更衣室などの汚れも気になっています。そこで提案いたします。

葛飾区のプール施設について、プールや更衣室の増築を行うこと、小まめな清掃を行うことがよいと考えます。

◆教育次長

初めに、50メートルを続けて泳げるプールが欲しいとのご意見についてのお答えです。区営のプールは、水泳の初心者の方を含めた多くの方を対象とした施設です。限られたコースの中で多くの皆様に安全にプールをご利用いただくために、事故防止の観点から各コースにルールを設けて運営をしています。そのため、ご要望いただきました50メートルを続けて泳げるプールにつきましては、現状では困難ではありますが、利用者が少ない時間帯に実現できるかどうか検討していきたいと思っています。

次に、プールや更衣室の増築に関するご要望についてのお答えです。夏の奥戸温水プールや水元温水プールについては、大変多くの方にご利用いただいております。そのため混雑も発生しています。一方で、夏以外の時期につきましては、ピーク時と比較すると4割程度の利用にとどまっていることから、プールの増築を検討する考えは現時点ではございません。

なお、夏場に限定して東柴又小学校のプール開放なども実施しています。奥戸温水プールや水元温水プールと比べると比較的空いておりますので、快適にご利用いただけるのではないかと考えております。

また、更衣室の増築については、施設内の限られた空間で新たに更衣室を設けることは困難であると考えております。更衣室は定期的に清掃を行っておりますが、現状の設備の中で少しでも快適にご利用いただけるよう、日下部委員のご指摘を踏まえまして、清掃作業の徹底や施設の部分的な補修等を検討していきたいと思っております。

◆坂崎委員（新宿中学校 坂崎紅羽）

「公立中学校の制服及び体育着の無償化について」

私は、在籍している中学校で生徒会役員として活動しています。先生やほかの役員と話題になった、公立中学校の制服及び体育着の無償化についてご提案させていただきます。

調べたところ、品川区では令和8年度より制服を無償化し、対象者の所得制限は設けていないとのこと。この無償化が実現されると、教育に係る費用が軽減されます。このご提案について、私の通う中学校での具体的なエピソードを述べます。

本校では、運動会の2週間前より、練習のために毎日、体育着で過ごしています。体育着を一日中着用する上、近年、暑さが増してきており汗をたくさんかくので毎日洗濯したいところです。しかし、経済的な事情や3年間という限定的な使用期間から、1着しかそろえていないという家庭が多いことが分かりました。衛生面や不快さを考慮して、2日以上洗濯せずに体育着の使用は避けたいです。そこで、制服や体育着を無償化にて支えていただき、衛生的な学校生活を送る後押しをお願いしたいです。

本校では、制服、体育着等についてリユースを行っており、PTA協力の下、制服リサイクルを定期的に行っています。本校でも制服リサイクルを通して、制服や体育着を大切に着まわしていけるよう今後とも尽力してまいります。給食に続いての重ねての要望となりますが、制服等の無償化についてもお力添えをいただきたく、既にお考えがありましたらお聞かせください。

◆教育次長

葛飾区では、学校給食を安定的に提供し、子どもたちの心身の健全な発達を促すために、令和5年度から学校給食費の無償化に取り組みました。今年度からは、修学旅行や移動教室、ドリル教材や副読本などの副教材に係る費用を無償化しています。

坂崎委員から制服や体育着の無償化についてご提案をいただきましたけれども、葛飾区におきましては、修学旅行や副教材など学校での活動に直接的に必要な費用を対象として教育環境の一層の充実を図ることを目的に無償化を実施しています。

また、経済的な理由によって子どもに義務教育を受けさせることが困難なご家庭に対しましては、就学援助制度という制度があります。この制度を通して、制服や体育着の購入など入学時に必要な費用を新入学準備金として支給しています。こうしたことから、制服や体育着を新たに無償化の対象とすることは今のところ考えておりません。就学援助制度については、もしご関心があれば、学校教育法第19条を少し勉強していただくと嬉しく思います。

続いて、葛飾区では子どもたちの教育環境をよりよいものとするために、学力・体力向上のための取組や計画的な学校の建替えなど、様々な事業に取り組んでいます。これからも限られた予算を有効に活用して事業を実施していきたいと考えています。

最後に、坂崎委員のお話について制服のリサイクルのお話でしたが、その取組は大変素晴らしいものだと思っています。より多くの生徒さんたちに関心を持っていただき、SDGsの達成に向けて葛飾区内にリサイクルが浸透していくことを期待しています。

◆黒澤副委員長（白鳥小学校 黒澤有匡）

「いじめられていることを伝えられないことについて」

僕が通う小学校ではいじめがあります。いじめられている子が、いじめられていることを伝えたいけれども、生活アンケートに書けていなかったり、先生や大人に伝えられていないことが現状です。葛飾区には電話相談やLINEなどでの相談ができますが、小学生では難しいと思います。そこで提案いたします。

僕は、いじめられていることを伝えられるようにするために、もっと伝える場を増やしたほうがいいと思います。例えば、全校児童が前学期に1回、スクールカウンセラーの先生に相談する機会をつくることや、生活アンケートに書くより、言葉でいじめられていることを伝えやすい子もいるため、先生や大人と一対一で話せる機会を毎学期つくることを提案いたします。

◆学校教育担当部長

葛飾区では、葛飾区いじめ防止基本方針を定め、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでおります。残念ながらいじめはどの学校でも起こり得るものではございますけれども、お話にございますとおり、いじめを早期に発見し対応していくためには、現在いじめに遭っている、いじめで悩んでいるなどの現状を相談しやすい環境づくりに努めていくことが重要であると考えております。

そのため、教育委員会では昨年度、電話相談窓口を開きまして、今年度は1人1台タブレット端末に東京都のウェブチャット相談窓口のショートカットを配置いたしましたところでございます。

しかしながら、黒澤委員ご指摘のとおり、こうした電話相談やチャット相談は、小学生にとって利用しづらい、また、生活アンケートにいじめを受けたことについて書きづらいという声も届いてございます。

ご提案いただいたスクールカウンセラー等への相談機会の確保につきましては、現在、スクールカウンセラーが小学5年生全員を対象に面接を実施しており、学校によっては対象学年を広げて実施してございます。また、希望する教員と相談する機会をつくる取組をしている学校もございます。

学校の教職員に安心して相談することのできる環境や、関係をつくることはもちろん、アンケートやスクールカウンセラーを効果的に活用していくことは重要であると考えてございますので、今後も1人でも多くの子どもたちのSOSを受け止め、いじめを早期に発見し早期に対応することができるよう、様々な相談方法の充実について検討してまいります。

◆小林委員長（幸田小学校 小林璃愛）

「給食の食べ残しについて」

私は給食を残さないことを心がけています。ですが、毎日何かしら食べ残しがあり、もったいないと感じていました。ですので、この食べ残しをどうしたら無くせるのか考えました。

給食調理員の方に聞いたところ、学校全体で多いときは一クラス分ほどの食べ残しがあると分かりました。葛飾区公式サイトで学校給食の残食率を見たところ、一月の平均が大体4%から6%ほどでした。そのほかにも、主に豚の餌として再利用されていることを知りました。そこで私は提案いたします。

手のつけられていない残った給食を、保護者や地域の方に食べてもらうのはどうでしょうか。学校のホームページやホーム&スクールでお知らせをし、各自お皿を持参してもらい、セルフスタイルでの提供をすることで学校側の負担を少なくし、お代は頂かない代わりに片づけのお手伝いや、ボランティアをお願いしたいと考えました。私の考えた提案に対する葛飾区の考えをお聞かせください。

◆教育次長

葛飾区では、手作りにこだわった安全・安心でおいしい給食の提供に取り組んでおりますが、お話にあったとおり、残食率が5%前後で推移しています。このことは、私ども教育委員会としても課題の一つとして認識しています。

手のつけられていない残った給食を保護者や地域の方に食べてもらうのはどうかというご提案を小林委員からいただきましたが、給食は給食の時間に児童・生徒の皆さんに食べてもらうことを前提に必要な人数分を作っています。そのため、残食が出ることを見越して保護者や地域の方へお知らせすることが難しく、皆さんが給食を食べ終えてからお知らせすることになりますと適切な衛生管理ができないことから、実現は難しいと考えております。

各学校の栄養士や調理員の方々は、児童・生徒の皆さんにしっかりと栄養を摂取してもらうために、皆さんが嫌いな食材でもより食べやすくなるように食材の切り方や味つけを変えるなど工夫を凝らして給食の献立を作成し、調理を行っています。

私ども教育委員会といたしましても、学校の栄養士の方々と連携をして、残食が少しでも減るよう引き続き創意工夫を図っていきたいと考えています。

小林委員をはじめほかの委員の皆さんも、ぜひ苦手な食材にチャレンジをしていただいたり、食べられないお友達がいる場合には「おいしいよ」とか「一口でも食べてみたら」、こんなような声かけをしてみただけのとうれしく思います。

7 本会議（決議及び閉会式）

議事

（1）決議

◆子ども区議会議長（花の木小学校 内山絢香）

子ども区議会を再開いたします。

日程第3「区民一人一人の思いを大切にする、安全安心な葛飾区」を上程いたします。

◆小沼議員（柴原小学校 小沼幸音）

ただいま上程中の子ども区議会議員提出議案「『区民一人一人の思いを大切にする、安全安心な葛飾区』にするための決議」について、提出者を代表し、提案理由を申し上げます。

この決議は、私たち決議文作成委員が、子ども区議会議員27名全員の意見・意思を踏まえて検討し作成したものであり、私たち全員の共通する思いです。

私たちは、区民全員の意見が大切にされ、誰もが過ごしやすい葛飾区を実現したいと考えています。そこで、次の2つの点に特に取り組む必要があると考えます。

第一に、「区民一人一人の思いや声を大切にし、きれいで安心安全な住みやすいまちづくり」についてです。

まず、葛飾区では公園や駅でのたばこのポイ捨てや、ごみ集積所でのカラスのいたずらが目立っていることです。これを解決するために、投票型喫煙所の設置や、ごみ箱の数を増やすこと、ごみ拾いボランティアを募る活動、集積所のネットを箱型に変えるなどの取組が考えられます。

次に、安心安全についてです。現在の葛飾区には放置自転車や騒音問題、狭い道路、水害の危険など、安全面での懸念があります。これらの問題を解決するために、駐輪場の拡大、防音対策や道路整備、水害訓練の充実が必要です。さらに、区民が楽しく遊べるように遊具の増設や、みんなが楽しめるイベントを開催し、これらの取組を広報誌等で区民に知らせることが重要だと考えます。

第二に、「子どもがよりよい学校生活を送り、全ての人が安心して暮らせるまちづくり」です。

まず、葛飾教育の日について、学校の授業だけでなく、保護者や友達、地域の人々と共に遊び、交流を深める日にしてほしいと考えています。また、葛飾教育の日が土曜日に設定されると、先生や子どもたち、保護者の方々に負担がかかるため、曜日の見直しも検討してほしいと思います。

次に、学校や地域の施設の再点検を求めます。古い校舎や施設が、災害時に崩れないように新しくしたり、防災道具を増やしたりして、災害に対する準備を強化してほしいと思います。また、区民プールや更衣室の増築など、施設面での充実も望んでいます。

さらに、障害について理解を深めるため、区民に対して障害に関する学ぶ機会を増やすことが重要です。これにより、差別や偏見が減り、障害に対する理解が深まると考え

ます。

以上のことを踏まえ、ここに決議を提案いたします。

それでは、決議文を朗読します。

「区民一人一人の思いを大切にする、安全安心な葛飾区」

葛飾区子ども区議会は、その総意により、葛飾区の幅広い世代が過ごしやすい区にするために、全ての区民が考え、意見し、行動することを私たちは強く求めます。

◆和氣議員（川端小学校 和氣武琉）

「区民の思いを大切にし、きれいで安心・安全な住みやすいまちづくり」

私たちは、区民の一人一人の思いや声を大切にし、きれいで安心・安全な住みやすいまちのために、次の三つに取り組むことが大切だと考えます。

まず、「きれいなまちづくり」です。公園や駅などの吸い殻やごみのポイ捨て、ネットで覆われているごみの集積所では、カラスによるいたずらが目立ちます。この解決には、①投票型喫煙所の設置、②公園や路上にごみ箱を設置、③定期的なごみを拾うボランティア活動、④ごみの集積所のネットを箱型の集積所に変える、このような取組によってごみが減り、きれいなまちになると考えます。

次に、「安心・安全なまちづくり」です。放置自転車や騒音問題、また狭い道路が多いうえに、低地で河川に囲まれていることから水害の危険性もあり、安全性に懸念点があります。この解決のために、①駐輪場の拡大、②防音の点検や検定を実施、③道路整備、④水害訓練の充実、これらを実現し、誰もが安心して住めるまちにしていくべきだと考えています。

最後に「区民の声を大切にした取組」です。区民が安心した先にあるのは、楽しさの享受だと思います。私たち子どもだけではなく区民が楽しく過ごせるよう、公園の遊具の増設やイベントの開催、また、これらの取組をより多くの区民に知ってもらうために、広報誌等で区民に知らせていくべきだと考えています。

このように、区民の声を実現していく、すばらしい葛飾区であってほしいと思います。

◆桐山議員（よつぎ小学校 桐山愛莉）

「子どもたちがよりよい学校生活を送り、全ての人安心して暮らせる環境づくり」

私たちは、子どもたちがよりよい学校生活を送り、子どもだけでなく全ての人安心して暮らせることが必要であると考えました。そのために、次の3点に取り組むべきだと考えます。

第一に、葛飾教育の日に授業を行うのではなく、保護者や地域の方と遊べる機会にしてほしいです。葛飾教育の日は、親に自分が頑張っているところを見てもらえるのがとてもいい点だと思います。その反面、教育の日が土曜日だと、先生や子どもたち、保護者の負担になります。保護者や友達、地域の人と交流を深める日にしてほしいです。

第二に、学校や地域の施設の見直しをしてほしいです。地震が起きて校舎や施設が崩れないように新しくしたり、防災用具を準備したりしてほしいです。また、区民プールや更衣室の増築など、施設面でももっと充実してもらえるとうれしいです。

第三に、大人も子どもも障害について学ぶ機会を増やしてほしいです。学ぶことで差別や偏見が減れば、自分が一人の必要とされている人間だと思えて、自信を持って生きられると思います。

(2) 閉会式

区長挨拶

子ども議員の皆さん、本日は長時間お疲れさまでした。

本日、この区議会において、皆さん一人一人自らの意見や要望を堂々と話す姿はとても立派でした。私は、皆さんのような方が葛飾区の未来を担っていただくことをとても心強く感じています。

皆さんの代表が考え、全会一致で採択された令和7年度葛飾区子ども区議会決議からは、子ども議員の皆さんが葛飾区を愛し、自らの手で葛飾区をよくしたいという熱意と意気込みを強く感じました。

その中には、まちづくりのこと、災害対策のことや学校生活に関することなどがありましたが、どれも葛飾区にとってとても大切なことです。皆さんの意見を参考にして、これからの区政にもしっかりと生かしてまいりたいと考えます。

皆さんは、いずれ学校を卒業して、社会に出て、実際に葛飾区のまちづくりを担う立場になっていきます。そのときには、今日の経験や思いを忘れずに、自分が地域のために何ができるかということをしっかり考え、一つ一つ実現をしていってほしいと思います。そのために、これからもよく学び、よく遊び、様々なことに挑戦をしてください。

私も、葛飾区がさらに魅力あふれるまちとして、皆さんに胸を張って引き継げるように頑張りたいと思います。そのために、これからも区議会や47万人の区民の皆さんと連携・協働しながら、夢と誇りあるふるさと葛飾のまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、今年の子ども区議会の開催に当たりまして、協力をいただきました関係者の皆様に御礼を申し上げまして、令和7年度葛飾区子ども区議会の閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

8 アンケート結果

【実施日】令和7年12月25日（木）

【参加者数】27名

【回収数】27枚

① 参加したきっかけはなんですか。



【内訳】

a 先生に勧められた

b 自分から希望した

c その他（家族の勧め等）

（前年度）

0%（0%）

70.4%（73.1%）

29.6%（26.9%）

② 参加してみてもうでしたか。



| 【内訳】 | (前年度) |
|-------------|--------------|
| a よかった | 92.6% (100%) |
| b よくなかった | 0% (0%) |
| c どちらともいえない | 7.4% (0%) |

③ 事前学習会は役にたちましたか。



| 【内訳】 | (前年度) |
|-------------|---------------|
| a 役にたった | 81.5% (92.3%) |
| b 役にたたなかった | 0% (0%) |
| c どちらともいえない | 7.4% (0%) |
| d 参加していない | 11.1% (7.7%) |

4 区役所の人の回答内容は理解できましたか。



| 【内訳】 | (前年度) |
|----------------|--------------|
| a 分かりやすかった | 81.5% (100%) |
| b 少しは分かった | 18.5% (0%) |
| c あまりよく分からなかった | 0% (0%) |
| d よく分からなかった | 0% (0%) |

5 区議会の仕組みは理解できましたか。



| 【内訳】 | (前年度) |
|-------------|---------------|
| a 分かった | 77.8% (84.6%) |
| b 少しは分かった | 22.2% (15.4%) |
| c よく分からなかった | 0.0% (0.0%) |
| d 分からない | 0.0% (0.0%) |

6 区政（区の活動）に関心がわきましたか。



| 【内訳】 | (前年度) |
|---------|---------------|
| a はい | 85.2% (88.5%) |
| b いいえ | 3.7% (0%) |
| c かわらない | 11.1% (11.5%) |

7 区議会の活動に関心がわきましたか。



| 【内訳】 | (前年度) |
|---------|---------------|
| a はい | 88.9% (92.3%) |
| b いいえ | 3.7% (3.9%) |
| c かわらない | 7.4% (3.9%) |

8 子ども区議会を、今後も続けたほうが良いと思いますか。



【内訳】

a はい

b いいえ

c どちらともいえない

(前年度)

92.6% (96.1%)

0% (0%)

7.4% (3.9%)

⑨ 参加した感想や意見などがありましたら記入してください。

- ◆初めて議会に参加したのでとてもためになりました。
- ◆自分が提案をしたことに対してわかりやすく答えてくれてよかったです。区議会の取組についてもよく知ることができました。
- ◆新しい友達ができ嬉しかったし、知りたかったことも聞けた。
- ◆今まで不思議に思っていたことが分かってよかったです。また参加してみたいと思いました。
- ◆一般質問では区長や教育長から区の考えが聞けてよかった。楽しかった。
- ◆区役所の人の方がわかりやすく答えてくれました。ありがとうございました。
- ◆私がいつも思っていることが直接言えたのでスッキリし、楽しかったです。
- ◆自分の意見を教育長や区長等の偉い人に直接聞いてもらえるというメリットがあり、また、質問の回答を聞けるので参加してよかったと思いました。
- ◆今回自分の意見を言えたり、委員長を担当することができてとても楽しかったです。またやりたいと思いました。
- ◆このような機会があってすごくよかったです。
- ◆今まで悩んでいたことが、子ども区議会をとおして理解できました。私が提案したことについて、区ではなぜ行っていないのかと思っていましたが、デメリットがありできないこともあると知りました。私の弟は周りに比べてできないことがあります。そのかわり、周りができることを弟はできることがあります。差別せず、人ひとりお互いを思って生活することができたらなと思いました。それをできて葛飾区なのだと思います。
- ◆子どもの意見を区長さんに言えるのは、とてもいい事だと思いました。自分が調べても出てこなかった事を知れてスッキリしました。ありがとうございました。
- ◆自治体への自分の意見を発表する場が設けられているのはとてもよいと思った。
- ◆区の人たちが毎日忙しくて、大変だということが分かりました。私も区のためになにかできるか考えたくなりました。区に私の意見を聞いてもらえるいい機会だなと思いました。
- ◆質問に丁寧に答えてもらえてよかったです。
- ◆また出ることがありましたらよろしくお願いします。
- ◆子どもが、直接自分の意見を言える機会があってよかった。また参加したい。
- ◆緊張したけど、自分の意見を実際に聞いてもらうことで、検討してもらい、提案したものが実現できたら、とてもいい場所だと思ったし、皆さんの考えも分かるので良いと思った。
- ◆区議会がどのような役割があるのかくわしく知れた。
- ◆初めて子ども区議会に参加してやる前はとても緊張したけど、いざやってみるとみんな葛飾区のために意見を述べていてすごいと思い、私もできることはやろうと思いました。
- ◆令和5年から子ども区議会に参加していて、今回で3回目ですが、また来年もやりたいと思いました。少年の主張が今年出られなかった分、来年は少年の主張や子ども区議会に参加したいと思います。

9 子ども区議会スケジュール

| 時期 | 内容 |
|--------|---|
| 5月中旬 | <p>子ども区議会議員募集</p> <p>* ちらし、広報かつしか5月15日号、区公式ホームページ、区公式SNS（LINE、X、Facebook）によりお知らせ</p> |
| 8月20日 | <p>事前学習会</p> <p>【開催時間】午後1時～午後5時</p> <p>【会場】葛飾区議会本会議場及び委員会室、葛飾区役所新館7階会議室</p> <p>* 質問文の作り方、区議会議員の役割などについて学習</p> <p>* 議長、副議長、委員長、副委員長、決議文作成委員、一般質問者を決定</p> |
| 12月25日 | <p>子ども区議会</p> <p>【開催時間】午後1時～午後4時35分</p> <p>【会場】葛飾区議会本会議場及び委員会室</p> <p>【当日スケジュール】</p> <p>午後1時 集合</p> <p>午後2時 開会</p> <p>午後2時20分 本会議（一般質問）</p> <p>午後3時20分 委員会（委員会質問）</p> <p>午後4時20分 本会議（決議文朗読）</p> <p>午後4時35分 閉会</p> |

葛飾区

子ども 区議会

あなたの意見で葛飾区をもっと素敵なまちに!

子ども議員が
葛飾区の未来について
区長や教育長に提案します!



あなたの声が区政を変える!

2025

12.25 木

時間 午後1時～午後5時

会場 区役所本会議場及び委員会室

応募期限 5.30 金 必着

応募方法・子ども区議会スケジュールは裏を見てね!

お問合せ 葛飾区すぐやる課 Tel03-5654-8448

子ども区議会とは？

年に1回の特別な体験をしてみませんか？
あなたの考える「葛飾区をもっと楽しく素敵にする方法」を議場で
発表しよう！

子ども区議会スケジュール

| 日時 | 内容 |
|------------------------|--|
| 8月20日(水) 午後1時～午後5時 | 事前学習会 ① 議場見学 ② 質問テーマ決定 ③ 役割決め ④ 質問文作成の練習 |
| 12月25日(木) 午後1時～午後5時 | 本番 ※参加者には記念品として 図書カード2,000円分をお渡しします！ |

応募方法

どちらかの方法でご応募ください

- ① 右のQRコードを読み取り応募フォームから申込み
- ② 郵便はがきに以下のように書いてすぐやる課へ送付



| | |
|---|---|
|  |  |
| 宛先 | |
| 〒124-8555 | |
| 葛飾区役所すぐやる課 宛て | |
|  | |

記載事項

- ①住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③生年月日
- ④電話番号
- ⑤学校名
- ⑥学年
- ⑦保護者氏名
- ⑧過去応募回数
- ⑨質問したいテーマ
(葛飾区で気になる問題など)

対象

葛飾区内に住む
小学5年生～中学3年生

定員

40名程度 ※多数抽選

申込期限

令和7年5月30日(金) 必着

ぜひご参加ください！

令和7年度 子ども区議会会議録
令和8年3月発行
発行 葛飾区総務部すぐやる課
電話(3695)1111 内線2193

この冊子は印刷用の紙へリサイクルできます。